

# 第2次 宇都宮市スポーツ施設整備計画

平成29年2月

宇都宮市

宇都宮市教育委員会



## 目 次

<b>第1章 計画の概要</b> .....	<b>1</b>
1 計画策定の目的 .....	1
2 計画の位置付け .....	1
3 計画の期間 .....	1
<b>第2章 現状と課題</b> .....	<b>2</b>
1 スポーツ活動を取り巻く社会環境の変化 .....	2
(1) 人口の見通し .....	2
(2) 人口構成 .....	2
(3) 平均寿命と健康寿命の乖離 .....	3
(4) プロスポーツチームの活動やビッグスポーツイベントの動向 .....	3
2 スポーツ施設に求められるニーズ .....	4
(1) スポーツの実施状況 .....	4
(2) 種目別運動・スポーツの実施状況 .....	5
(3) 本市のスポーツ人口の見通し .....	6
3 スポーツ施設の状況 .....	10
(1) 市有スポーツ施設の状況 .....	10
(2) 県有スポーツ施設の状況 .....	14
(3) 公共スポーツ施設の配置の状況 .....	15
(4) 民間スポーツ施設の状況 .....	22
(5) その他施設等の状況 .....	25
4 スポーツ施設整備にあたっての課題 .....	26
(1) 人口減少や人口構成の変化への対応 .....	26
(2) 施設配置の適正化 .....	26
(3) 利用者ニーズへの対応 .....	26
(4) 老朽化への対応 .....	26
(5) 防災機能の充実 .....	26
(6) プロスポーツ、ビッグスポーツイベントへの対応 .....	27
(7) 平準化を踏まえた整備スケジュール .....	27
<b>第3章 計画の基本的な考え方</b> .....	<b>28</b>
1 計画策定の基本的な考え方 .....	28
2 施設の方向性 .....	29
(1) 施設の健全度や利用度を踏まえた方向性 .....	29
(2) 社会環境の変化や施設配置の状況を踏まえた方向性 .....	30
(3) 施設区分や位置付けを踏まえた方向性 .....	31

<b>第4章 施設整備計画</b> .....	<b>36</b>
1 施設整備の基本的な考え方 .....	36
(1) 予防保全型整備への転換 .....	36
(2) 改修に合わせた安心・安全の確保, 利便機能の整備 .....	36
(3) ビッグスポーツイベントに対応した機能整備 .....	36
(4) 施設の位置付けに応じた機能整備の優先化・重点化 .....	37
2 主な施設の整備計画 .....	37
(1) 施設の健全度や利用度を踏まえた施設整備 .....	37
(2) 社会環境の変化や施設配置の状況を踏まえた施設整備 .....	42
(3) 施設区分や位置付けを踏まえた施設整備 .....	47
3 施設整備の内容とスケジュール .....	48
(1) 施設の新設 .....	48
(2) 予防保全(大規模改修) .....	48
(3) 予防保全(計画修繕) .....	48
(4) 改修に合わせた安心・安全の確保, 利便機能の整備 .....	49
(5) 国民体育大会の機会を捉えた機能整備 .....	49
(6) 施設の廃止 .....	49
(7) 施設の複合的利活用に向けた整備 .....	49
(8) 施設整備の内容とスケジュール(施設別一覧) .....	50
4 計画の推進にあたって .....	56
<b>参考資料</b>	
施設の劣化調査結果の概略 .....	59
各施設の評価 .....	60

## 第1章 計画の概要

### 1 計画策定の目的

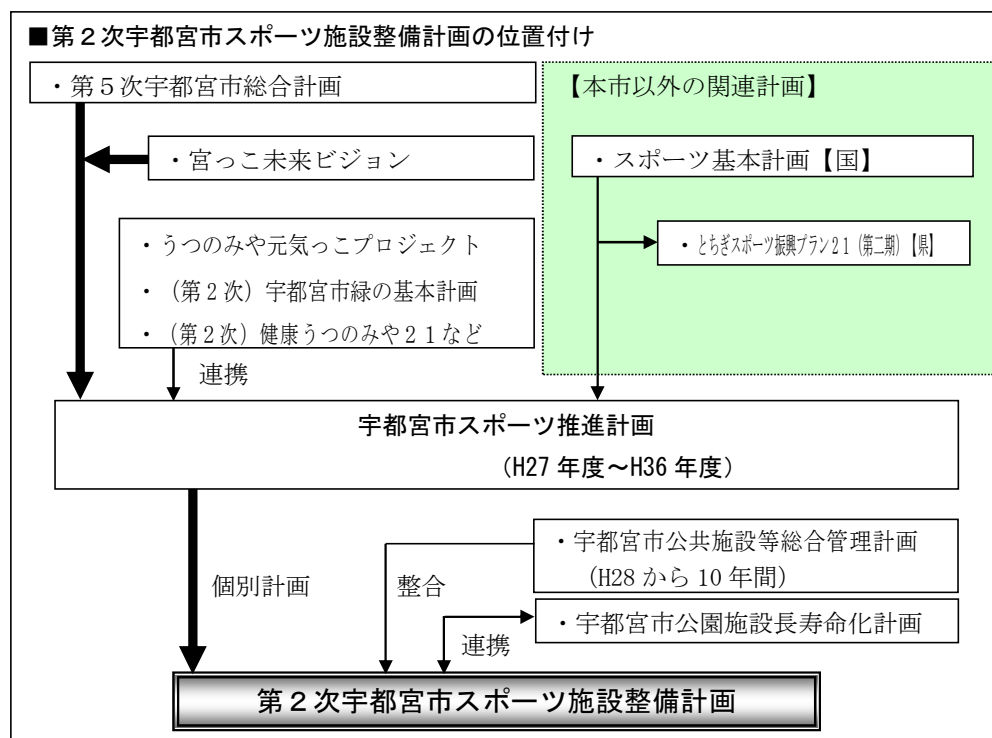
少子高齢化や平均寿命と健康寿命の乖離、ニーズの多様化など、スポーツ活動を取り巻く環境が変化する中、本市においては、生涯スポーツ社会の実現を目指し、平成27年3月に「宇都宮市スポーツ推進計画」を策定しました。

その目標達成に向け、スポーツ活動を支える環境の充実を図っていくためには、市民や地域、団体の各施設の利用状況やニーズはもとより、スポーツ人口の裾野拡大に寄与するプロスポーツチームへの支援、また、平成34年に栃木県において開催が予定される国民体育大会も見据え、さまざまなスポーツ活動を支える良好な環境を整えていくことが求められています。

このため、環境の変化や施設の老朽度等を踏まえ、計画的かつ効果的・効率的に施設整備を実現するため、現行計画を改定し、新たな「宇都宮市スポーツ施設整備計画」を策定します。

### 2 計画の位置付け

本計画は、第5次宇都宮市総合計画改定基本計画（後期基本計画）の分野別計画「市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために」の基本施策「生涯にわたるスポーツ活動を促進する」を実現するための計画、また、「宇都宮市スポーツ推進計画」の基本施策の一つである「スポーツ活動環境の充実」を実現するための計画として位置付けます。



### 3 計画の期間

平成29年度から平成36年度までとします。

なお、必要に応じ、中間年で計画の見直しを行うこととします。

## 第2章 現状と課題

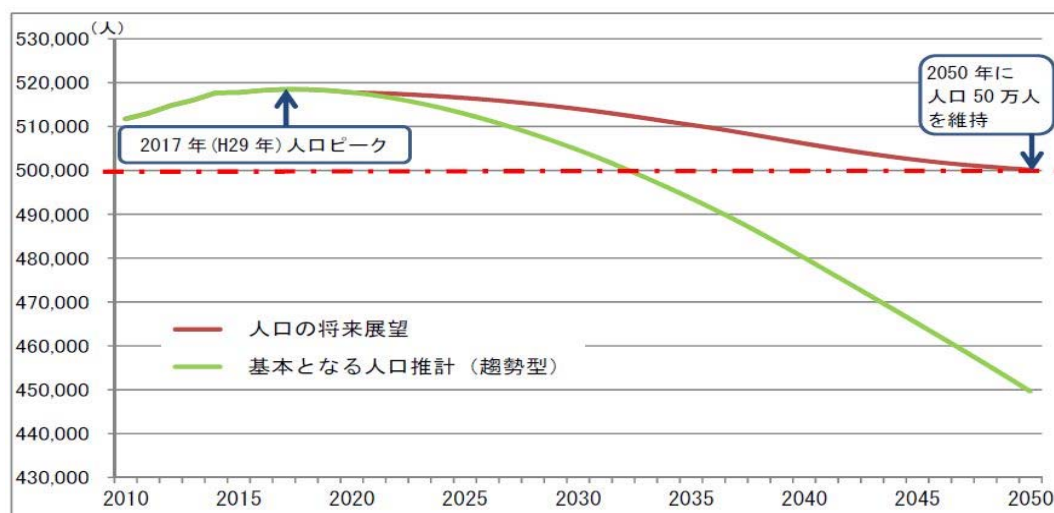
### 1 スポーツ活動を取り巻く社会環境の変化

#### (1) 人口の見通し

本市の人口は、これまで増加を続け、2015年時点で51.8万人となっています。今後は2017年にピーク（518,460人）を迎え、その後は減少していくと見込まれます。

「宇都宮市人口ビジョン」（平成27年10月）では、2050年に人口50万人を確保できる見通しであり、これは2015年に比べると約3.4%の減少となります。

「宇都宮市人口ビジョン」における人口の将来展望（2010年→2050年）



出所：宇都宮市「宇都宮市人口ビジョン」

#### (2) 人口構成

人口構成を見ると、老年人口の割合は23.6%（2015年）から36.8%（2050年）に増加する一方、年少人口の割合は13.7%から10.7%に、生産年齢人口の割合は62.7%から52.5%に減少すると見込まれます。

将来人口の年齢構成別内訳（2010年→2050年）

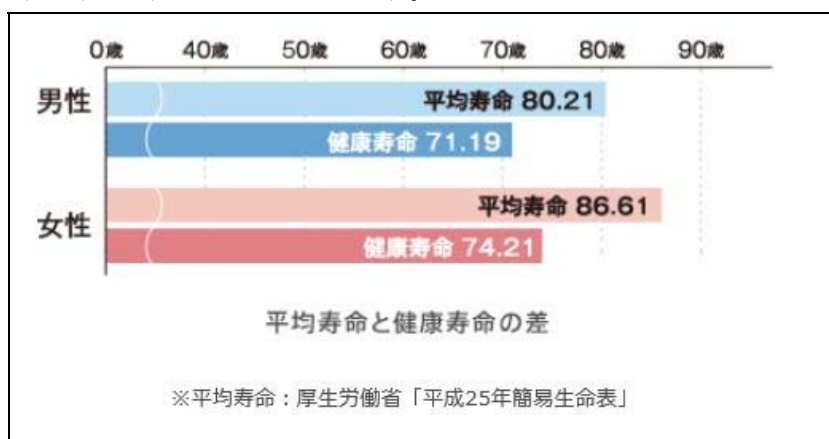


出所：宇都宮市「宇都宮市人口ビジョン」

### (3) 平均寿命と健康寿命の乖離

高齢化の進行が一層顕著になることが予測される中、健康寿命の延伸が社会的な課題としてクローズアップされています。

このため、市民が生涯を通じて自分に合ったスポーツや運動に取り組むことをより一層促進し、スポーツや運動の持つ多面的な効用を生かして、健康づくりにも繋げていくことが、ますます重要になってきています。



### (4) プロスポーツチームの活動やビッグスポーツイベントの動向

本市においては、スポーツ人口の裾野拡大等を図るため、プロ野球公式戦の誘致を行うとともに、本市を活動拠点とするプロスポーツチームの練習・活動等に対し、試合会場や練習場所となる施設の環境整備や優先利用などにより支援に取り組んでいます。

また、平成32年には、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、キャンプ地誘致の会場として施設の活用を図るとともに、平成34年には、栃木県において、本市を会場地とした競技も含め、国民体育大会が開催される予定となっており、先催市においては、一部施設で競技運営に対応するための機能整備が行われています。

#### 本市所管スポーツ施設の国体会場地選定状況

競技・種目名	市有施設
自転車／トラックレース	宇都宮競輪場
軟式野球	宇都宮清原球場
サッカー	宇都宮市河内総合運動公園陸上競技場
テニス	屋板運動場庭球場
バスケットボール	宇都宮市体育館
高等学校野球／硬式	宇都宮清原球場
バレーボール	清原体育館 宇都宮市体育館

## 2 スポーツ施設に求められるニーズ

### (1) スポーツの実施状況

#### ア 種目別登録人口とスポーツ実施率

近年の種目別の競技団体等への登録人口の調査によると、登録人口の多い競技は、「①サッカー、②バスケットボール、③ソフトテニス、④バレーボール、⑤陸上競技」（野球は種目統括団体がなく不詳）の順となっており、スポーツ実施率からみた推計実施人口の推計では、推計実施人口の多い競技は、「①ボウリング、②水泳、③サッカー、④ゴルフ、⑤バドミントン、⑥卓球、⑦野球、⑧バレーボール、⑨登山、⑩バスケットボール」の順となっています。

世代別にみると、10代については、バスケットボールや水泳、バドミントンなど、部活動で盛んに行われている競技が上位となっています。

一方で、成人については、ボウリングやゴルフ、水泳など、余暇や趣味としても行われる競技が上位となっています。

#### イ 実施率

10代と成人を比較すると、10代が平均9.7%、成人が平均3.2%と3倍以上の差があり、10代で盛んに行われている状況にあります。

スポーツの種目別登録人口と推計実施人口

	種目	登録者数(人)	実施率(%)		推計実施人口(万人)
			10代	成人	
1	ボウリング	25,000	16.5	13.0	1,549
2	水泳	118,714	25.3	7.1	1,040
3	サッカー	927,671	31.1	5.6	953
4	ゴルフ	4,775	2.4	8.3	892
5	バドミントン	245,612	22.3	5.0	786
6	卓球	304,620	18.5	4.7	710
7	野球	-	18.7	4.6	701
8	バレーボール	375,253	16.5	4.0	613
9	登山	645	5.1	4.7	550
10	バスケットボール	615,458	25.9	2.0	517
11	ソフトボール	-	7.3	3.6	461
12	フットサル	124,436	6.7	2.9	382
13	グラウンドゴルフ	190,434	0.0	3.5	364
14	ソフトバレー	18,314	4.2	2.5	310
15	エアロビックダンス	2,420	0.6	2.4	257
16	アイススケート	9,360	4.8	1.6	223
17	綱引	1,933	3.7	1.7	221
18	ソフトテニス	450,899	9.7	1.0	220
19	陸上競技	319,354	11.1	0.4	174
20	フライングディスク	3,193	4.7	0.5	108
21	ゲートボール	162,238	0.4	0.7	78
22	空手	80,652	3.2	0.3	69
23	柔道	146,001	2.4	0.3	60
24	カヌー	5,071	1.3	0.4	57
25	ラグビー	109,887	1.2	0.3	45

出所：「スポーツ白書」（2014）笹川スポーツ財団



## (2) 種目別運動・スポーツの実施状況

成人が年1回以上実施している種目別運動・スポーツ実施率によると、散歩やウォーキング、体操が上位に入っており、個人でいつでも気軽にできる運動が盛んに行われている状況となっています。

2002年から2014年までに、成人が年1回以上実施している種目の推移において、実施率の伸びが大きいのは、「①ウォーキング(9.0ポイント)、②筋力トレーニング(4.5ポイント)、③体操(2.3ポイント)」となっており、近年の健康志向の高まりが反映されていると考えられます。

また、年1回以上のウォーキングの実施者の過半数が50歳以上の中高年であるという調査結果もあり、今後、本市においても高齢化が一層顕著となる中、いつまでも気軽に取り組める生涯スポーツのニーズが高まる傾向にあると考えられます。

### 種目別運動・スポーツ実施率

順位	実施種目	実施率	順位	実施種目	実施率
1	散歩	33.0	16	バドミントン	5.3
2	ウォーキング	25.7	17	ハイキング	4.7
3	体操	18.5	18	野球	4.6
4	筋力トレーニング	13.0	19	卓球	4.4
5	ボウリング	10.0	20	スキー	4.3
6	ジョギング・ランニング	9.5	21	サッカー	4.0
7	ゴルフ(コース)	7.5	21	ヨガ	4.0
8	ゴルフ(練習場)	7.2	23	キャンプ	3.8
8	サイクリング	7.2	24	スノーボード	3.8
8	水泳	7.2	25	ソフトボール	3.0
11	キャッチボール	6.9	25	テニス(硬式)	3.0
12	釣り	6.8	27	バレーボール	2.5
13	海水浴	6.6	28	フットサル	2.4
14	なわとび	5.5	29	アイススケート	2.2
15	登山	5.4	30	グラウンドゴルフ	2.2

出所：「スポーツライフ・データ」(2014) 笹川スポーツ財団

### 種目別運動・スポーツ実施率の動向

順位	2002年		2014年	
1	散歩	31.1%	散歩	33.0%
2	ウォーキング	16.7%	ウォーキング	25.7%
3	体操	16.2%	体操	18.5%
4	ボウリング	14.7%	筋力トレーニング	13.0%
5	水泳	9.2%	ボウリング	10.0%
8	筋力トレーニング	8.5%	(省略)	-

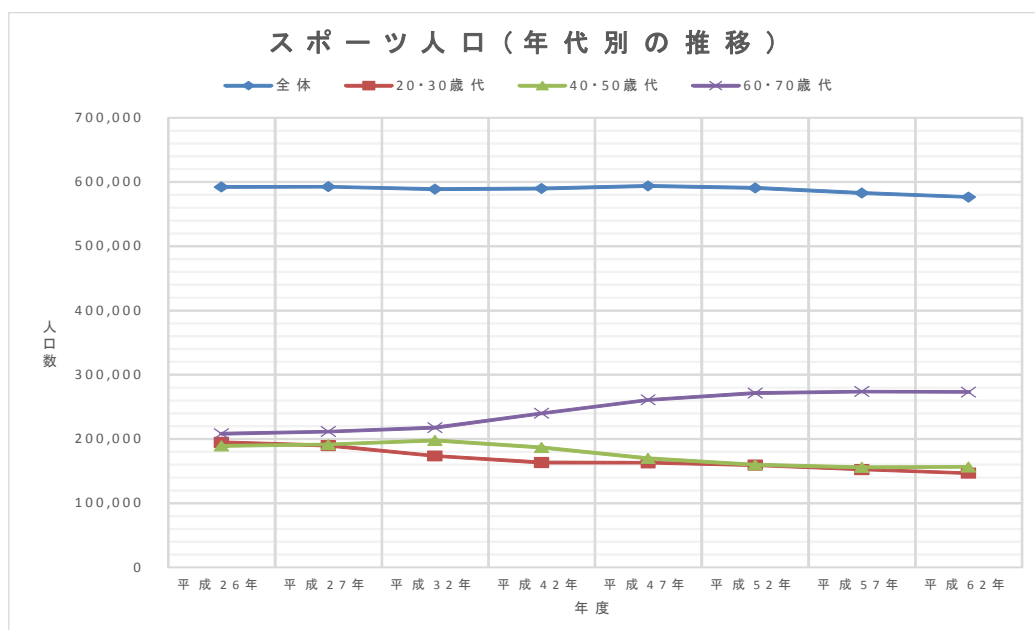
出所：「スポーツライフ・データ」(2002・2014) 笹川スポーツ財団

### (3) 本市のスポーツ人口の見通し

#### ア スポーツ人口の推移

本市の人口の見通しや人口構成に、既往調査により年代ごとに実施されている種目や実施率、その実施場所を掛け合わせ、今後の推移を試算すると、全体としては、「H47に0.15万人、H62に1.5万人減」となり、全体としての影響は少ないものと考えられます。

ただし、年代別の推移をみると、「60歳以上：H47に25%増、H62に31%増」「20・30歳代：H47に16%減、H62に25%減」となっており、高齢者の増加など、スポーツ人口の年齢構成の変化に着目すべきと考えられます。



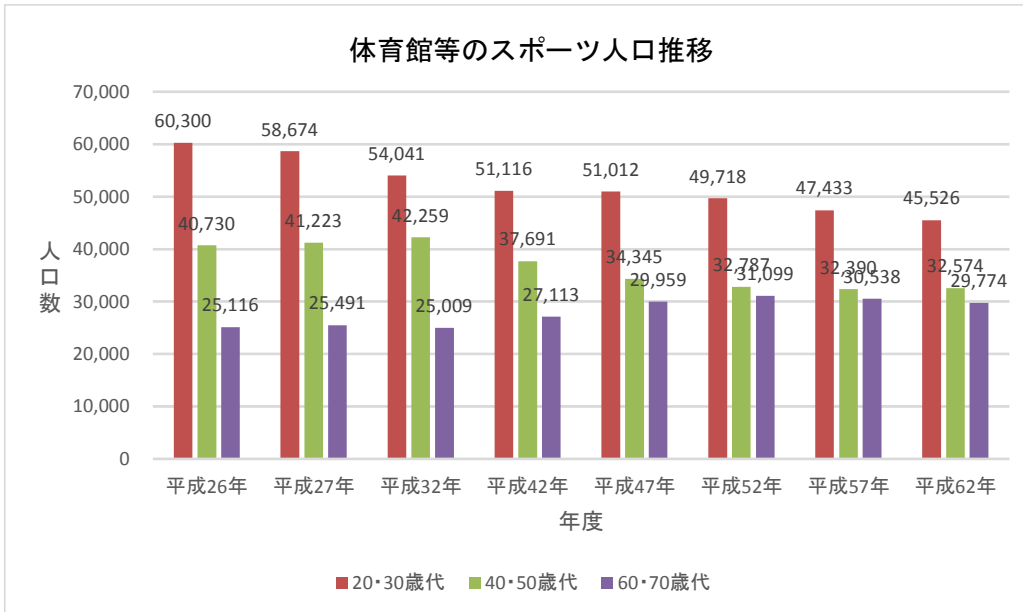
出所：「スポーツライフに関する調査」（2014）笹川スポーツ財団より、年代別に実施されている主なスポーツの実施率と本市人口推計から作成（10歳代以下は、学校施設などが主なスポーツ活動の場であるため除外）

#### イ 施設の種類の本市スポーツ人口の見通し

スポーツの種目ごとの実施場所に着目し、「体育館等」、「運動場等」、「プール」、「自宅・公共空間」の4つに分け、それぞれの施設等のニーズを試算します。

体育館等で行うスポーツについては、20歳代、30歳代については、筋力トレーニング、バドミントン、ヨガなどのニーズがあり、40歳代、50歳代も同様の傾向にあります。また、60歳代、70歳代については、筋力トレーニング、卓球、ヨガなどのニーズが高くなります。

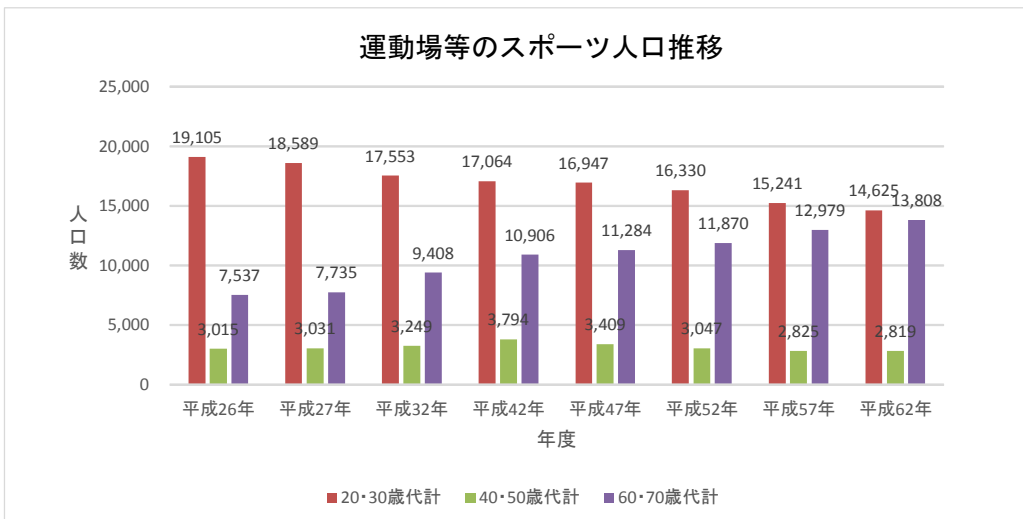
これを踏まえると、体育館等のスポーツ人口は、H47には全年代として微減（8.6%減）、H62には14%減となり、年代別にみると、若者の実施人口が減り、高齢者の実施人口が増える試算となります。



出所：「スポーツライフに関する調査」（2014）笹川スポーツ財団より、年代別に実施されている主なスポーツの実施率と本市人口推計から作成（10歳代以下は、学校施設などが主なスポーツ活動の場であるため除外）

運動場等で行うスポーツについては、20歳代、30歳代については、サッカー、フットサル、野球などのニーズがあり、40歳代、50歳代はソフトボールなどのニーズが減り、また、60歳代、70歳代については、グラウンドゴルフ、テニスなどのニーズが高くなります。

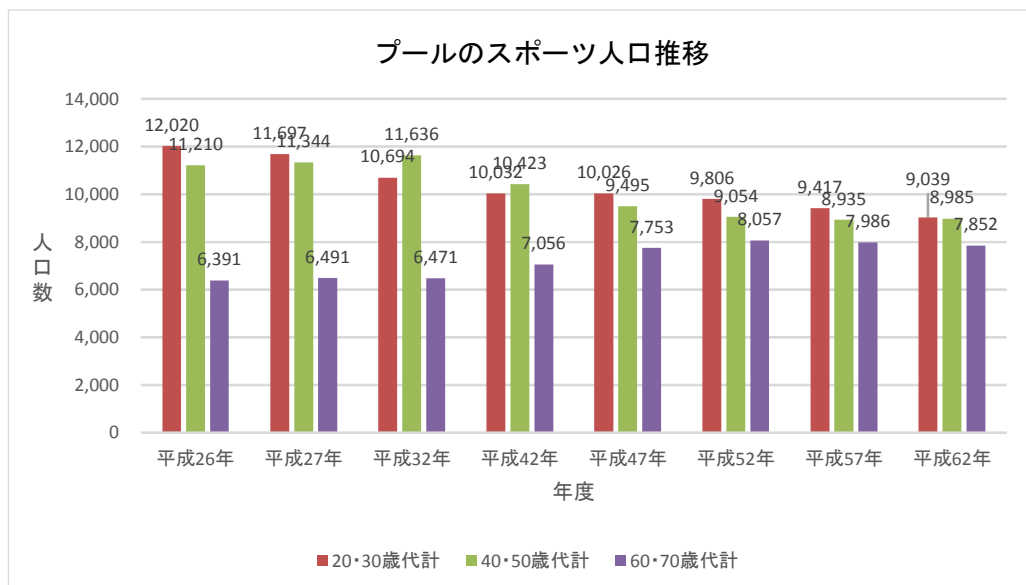
これを踏まえると、運動場等のスポーツ人口は、H47には全年代として微増（6.7%増）、H62には6%増となり、年代別にみると、若者の実施人口が減り、高齢者の実施人口が大きく増える試算となります。



出所：「スポーツライフに関する調査」（2014）笹川スポーツ財団より、年代別に実施されている主なスポーツの実施率と本市人口推計から作成（10歳代以下は、学校施設などが主なスポーツ活動の場であるため除外）

プールについては、各年代とも水泳等のニーズが高く、年代により目的や場所が変化しているものと考えられます。

これを踏まえると、プールのスポーツ人口は、H47には全年代として微減(7.9%減)、H62には13%減となり、年代別にみると、若者の実施人口が減り、高齢者の実施人口が増える試算となります。



出所：「スポーツライフに関する調査」(2014)笹川スポーツ財団より、年代別に実施されている主なスポーツの実施率と本市人口推計から作成(10歳代以下は、学校施設などが主なスポーツ活動の場であるため除外)

自宅・公共空間で行うスポーツについては、各年代とも、散歩やジョギング、ウォーキングなどのニーズが高い状況にあります。

これを踏まえると、自宅・公共空間のスポーツ人口は、H47には全年代として微増(3.2%増)、H62には1%増となり、年代別にみると、若者の実施人口が減り、高齢者の実施人口が増える試算となります。

#### 施設の種類の本市スポーツ人口の見通し(まとめ)

施設種別	主な実施競技 (は高齢者割合高い)	今後の見通し
体育館等	筋トレ、バドミントン、卓球、武道、バレー、バスケット等	<ul style="list-style-type: none"> <li>H47の実施人口(全年代)は微減(8.6%減)</li> <li>若者の実施人口が減り、高齢者の実施人口が増える。</li> </ul>
運動場等	サッカー、野球、グラウンドゴルフ、テニス、バドミントン、ゲートボール等	<ul style="list-style-type: none"> <li>H47の実施人口(全年代)は微増(6.7%増)</li> <li>若者の実施人口が減り、高齢者の実施人口が大きく増える。</li> </ul>
プール	水泳等	<ul style="list-style-type: none"> <li>H47の実施人口(全年代)は微減(7.9%減)</li> <li>若者の実施人口が減り、高齢者の実施人口が増える。</li> </ul>
自宅・公共空間	散歩、ジョギング、ウォーキング、体操、登山、サイクリング等	<ul style="list-style-type: none"> <li>H47の実施人口(全年代)は微増(3.2%増)</li> <li>若者の実施人口が減り、高齢者の実施人口が大きく増える。</li> </ul>

## ウ 地域別の実施人口の試算（現状）

地域別にスポーツ実施人口の試算（現状）を分解すると、北西部・北東部地域の体育館等、運動場等について、他地域と比較し、高齢者の実施人口の割合が高くなります。

### 地域別の実施人口の試算（現状）

地域名	北西部	中央	東部	南部	北東部
上段: 全体人口	44,116	202,303	69,134	161,015	45,594
下段: うち高齢者人口(割合)	11,401 (25.8%)	46,204 (22.8%)	15,253 (22.1%)	38,441 (23.9%)	11,463 (25.1%)
体育館等	10,422 2,361 (22.7%)	49,604 9,397 (18.9%)	17,217 3,207 (18.6%)	39,104 7,750 (19.8%)	6,573 2,483 (37.8%)
運動場等	2,408 704 (29.2%)	11,734 2,943 (25.1%)	4,023 928 (23.1%)	9,146 2,395 (26.2%)	2,481 687 (27.7%)
プール	2,466 600 (24.3%)	44,379 2,399 (5.4%)	4,008 814 (20.3%)	9,196 1,976 (21.5%)	2,544 629 (24.7%)
自宅・公共空間	34,950 15,872 (45.4%)	158,949 63,809 (40.1%)	53,274 21,438 (40.2%)	125,658 52,481 (41.8%)	36,265 16,463 (45.4%)

## エ 利用特性

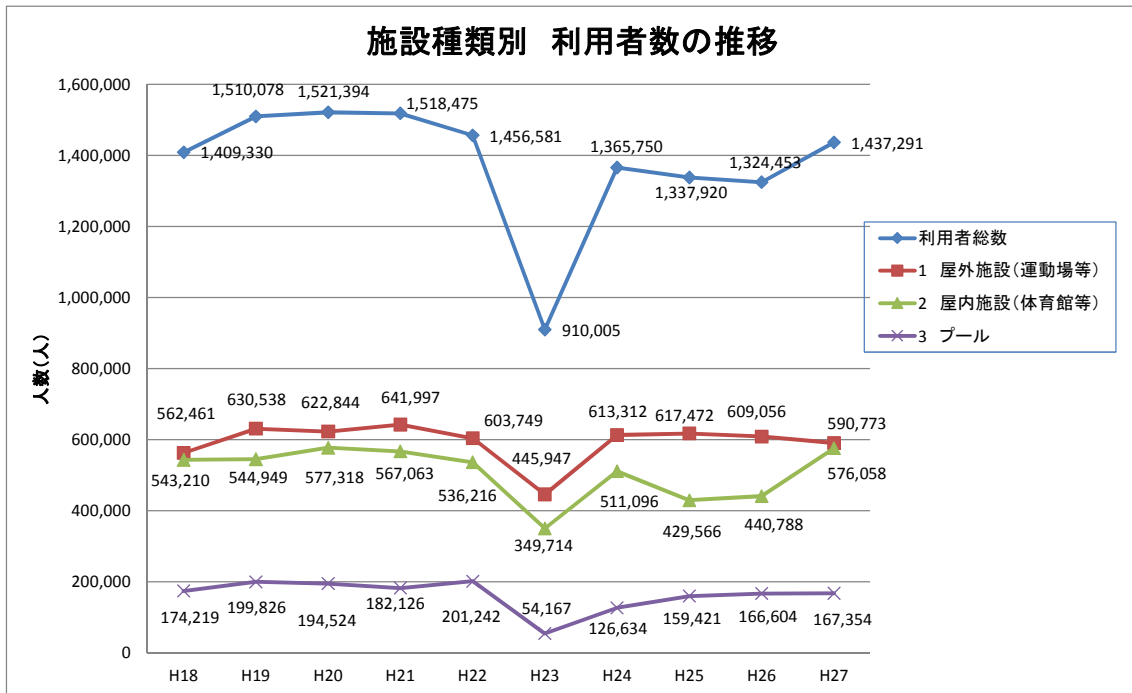
既存施設の地区内・地区外利用の状況をみると、一般の利用者に比べ高齢者の利用者の地区内利用の割合が高く、かつ地区外利用も隣接地区からの利用が多い傾向にあり、高齢者はより身近な施設を志向する傾向にあると考えられます。

## オ 施設の今後の方向性

体育館等、運動場等については、今後は、身近にアクセスしやすい施設があることや、ニュースポーツ・軽スポーツ、健康づくりなども含め、多様なニーズに応えられる施設が求められると考えられます。

また、プールについては、今後は、民間供給がないところなど、屋内施設の需要の高まりや、健康づくりへの対応等が求められると考えられます。





また、平成 23 年度市民意識調査によるスポーツ施設の満足度は「大いに満足している (10.6%)」、「ある程度満足している (57.9%)」であり、概ね 7 割が満足している結果が得られています。

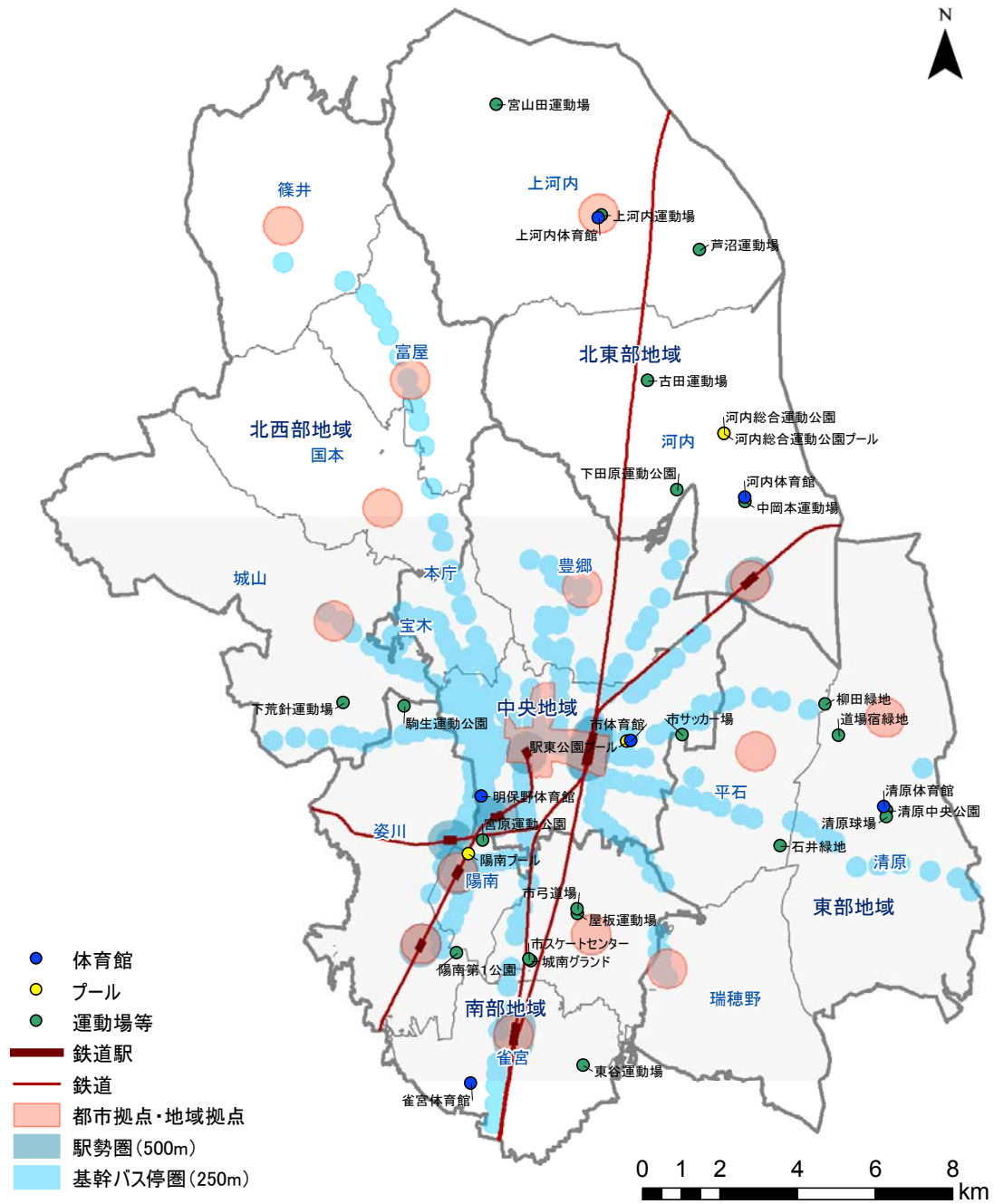
#### イ 老朽化等の状況

本市のスポーツ施設は、昭和 50 年代に整備された施設が多く、全体的に老朽化が進んでいるとともに、スポーツニーズや市域のスポーツ施設の整備状況の変化により、施設の配置が偏在化している状況があります。

#### <施設概要>

分 類	施設数	整備時期
体育館	6	1976～1988 年
プール	3	1970～2001 年
運動場等	2 2	1963～2001 年

<配置状況>



出所：宇都宮市公共施設等総合管理計画



また、機能面をみると、市体育館には冷暖房設備が設置されましたが、その他の体育館には空調設備は設置されておらず、トイレの洋式化なども含め、快適にスポーツを楽しむための利便機能の整備が求められる施設がみられ、高齢者や障がい者を含め、誰もがスポーツを楽しむための施設のバリアフリー整備についても、十分ではない状況にあります。

また、東日本大震災では、避難所として指定されている体育館も含め、スポーツ施設に大きな被害を受け、基本的に施設利用の再開を主眼として、早急な対応に取り組みました。

### 東日本大震災におけるスポーツ施設の被害

施設	避難所指定	被災状況	対応状況
市体育館	広域避難場所、 避難所	天井板、取付金具落下（1割程度）	原形復旧（その後、施設の大規模改修）
清原体育館	避難所	システム天井崩落	原形復旧（吊天井が課題）
明保野体育館	避難所	天井板、取付金具落下（4割程度）	原形復旧（吊天井が課題）
河内体育館		軒天落下、屋根と鉄骨接続部損傷	耐震補強
上河内体育館	避難所	天井一部剥離	原形復旧（耐震化が課題）
宇都宮清原球場		本柱に亀裂（10本）、EXPジョイント剥離	原形復旧
宮原運動公園野球場	広域避難場所	照明塔照明架台に亀裂	照明撤去（今後、老朽化したスタンドを解体する計画）
駒生運動公園野球場		照明塔照明架台に亀裂	原形復旧（その後、照明塔更新）
市スケートセンター		天井板、取付金具落下（2～3割程度）	原形復旧（吊天井が課題）
河内総合運動公園屋内プール		機械室水没、可動床変形、配管に亀裂など	原形復旧（吊天井が課題）
水上公園プール		主管から漏水、水槽の水位低下	廃止

### ウ 健全度・利用度を踏まえた施設評価

本計画の策定にあたっては、効果的・効率的、かつ計画的に施設の長寿命化や改修等を行うとともに、見直しを図るべき施設を導出するための基礎資料として、全施設の劣化調査や健全度・利用度を踏まえた各施設の評価を実施しました。

この結果、劣化調査では、整備後30年以上を経過した施設の緊急修繕レベルが高く、その他、外的環境や材質などから、劣化が進んでいるものもみられる状況となりました。

また、健全度・利用度を踏まえた各施設の評価については、施設の方向性の導出に生かしていきます。

## (2) 県有スポーツ施設の状況

本市の市域には、高い機能性を有する栃木県総合運動公園や栃木県体育館、栃木県グリーンスタジアムや、とちぎ健康の森などの県有スポーツ施設が配置されており、市有施設や民間施設等も含め、役割を分担しながら、スポーツ活動のニーズに対応しています。

また、栃木県においては、本市所在の現総合運動公園や元競馬場等において、総合スポーツゾーンの整備（平成 26 年度から平成 33 年度）が進められており、これらに伴い、本市スポーツ施設との役割分担や適正配置などに影響を及ぼすことが予測されています。

栃木県総合スポーツゾーンの整備計画

主な施設	整備前	整備後
多目的広場・付帯投てき場		<ul style="list-style-type: none"> <li>多目的広場（付帯投てき場）</li> <li>多目的広場（クレイ）</li> <li>ウォーキングコース</li> </ul>
新スタジアム		<ul style="list-style-type: none"> <li>陸上競技場兼サッカー場（観客席 25,000 席程度）</li> </ul>
武道場		<ul style="list-style-type: none"> <li>メイン武道場（柔剣道場）</li> <li>サブ武道場（柔剣道場）</li> <li>弓道場</li> </ul>
軟式野球場	<ul style="list-style-type: none"> <li>軟式野球場（3 面）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>軟式野球場（3 面、うち 1 面改修）</li> </ul>
硬式野球場	<ul style="list-style-type: none"> <li>硬式野球場（1 面）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>硬式野球場（1 面、改修）</li> </ul>
サッカー場・ラグビー場	<ul style="list-style-type: none"> <li>サッカー場・ラグビー場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サッカー場・ラグビー場</li> </ul>
体育館		<ul style="list-style-type: none"> <li>メインアリーナ（観客席 5,000 席以上）</li> <li>サブアリーナ</li> <li>トレーニングルーム等</li> </ul>
体育館分館	<ul style="list-style-type: none"> <li>メインアリーナ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メインアリーナ（空調設置等）</li> </ul>
水泳場	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋外水泳場</li> <li>50m プール、25m プール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋内水泳場</li> <li>50m プール、25m プール</li> <li>観客席 2,000 席以上</li> </ul>

出所：総合スポーツゾーンの整備について（H27.12.4 栃木県資料）から作成

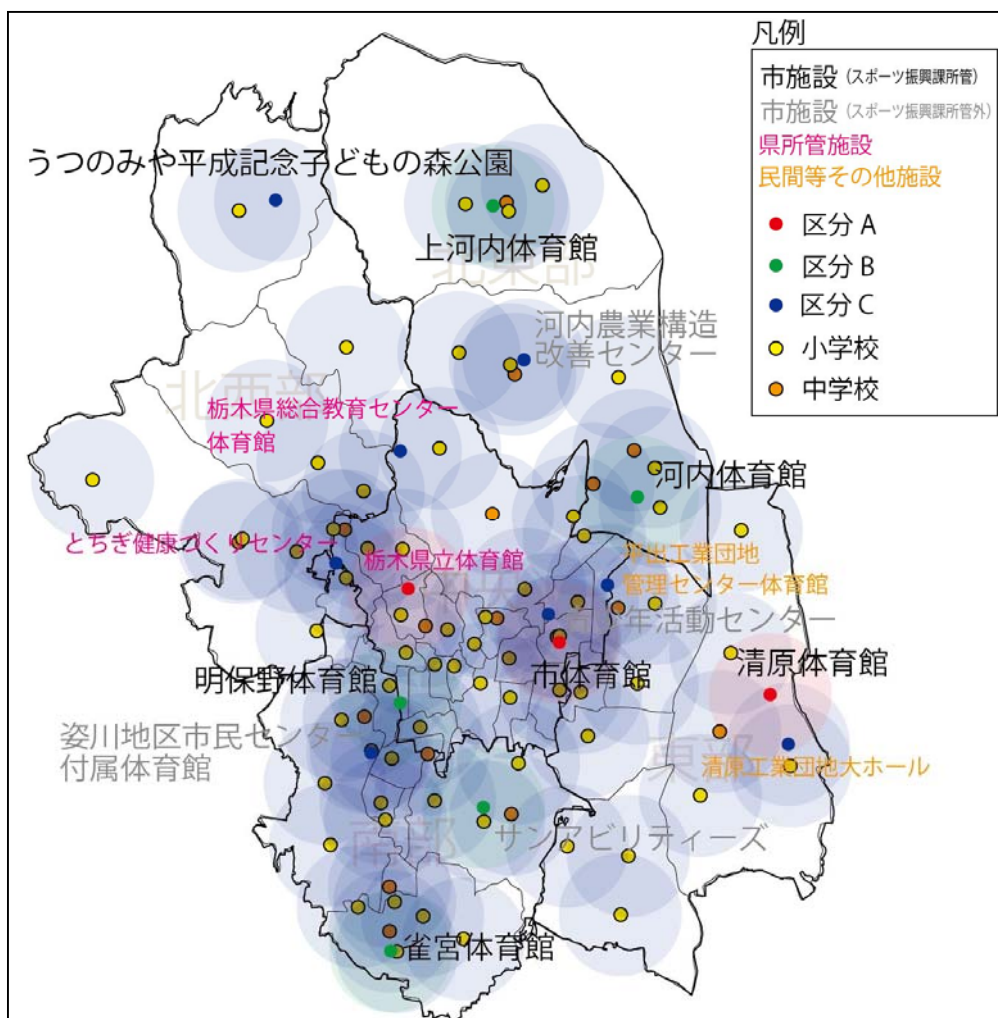
### (3) 公共スポーツ施設の配置の状況

#### ア エリア的なカバーの状況

##### (ア) 体育館等

体育館等は、さまざまな競技はもとより、生涯スポーツ等に幅広く利用される施設であることから、身近な場所で気軽にスポーツに取り組める環境として重要な役割を果たしていると考えられます。

このため、地域・市民利用の利便について、スポーツ施設に、学校施設の有効活用のため、夜間開放を行っている小中学校を加え、地区をベースとしたカバー圏を設定し、分布を確認すると、市有施設や県有施設に加え、小中学校の夜間開放により、ほとんどの地域において、エリア的なカバーがなされているものの、北西部地域については、小中学校の夜間開放以外の受け皿がほとんどない状況にあります。



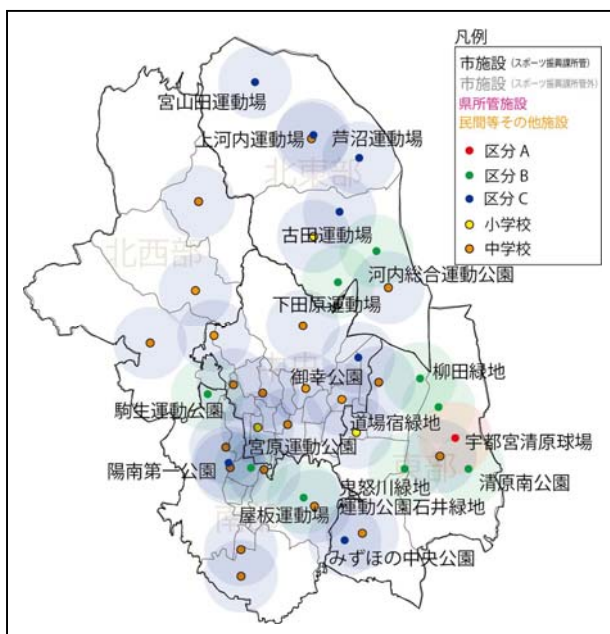
### (イ) 運動場等（野球場・サッカー場）

運動場等は、一部多目的のグラウンドを配置するものの、主に競技に応じて、専用の競技場を配置しています。また、体育館等が生涯スポーツや競技スポーツ等に幅広く利用される施設であるのと比較し、やや競技性が高い施設であると考えられます。

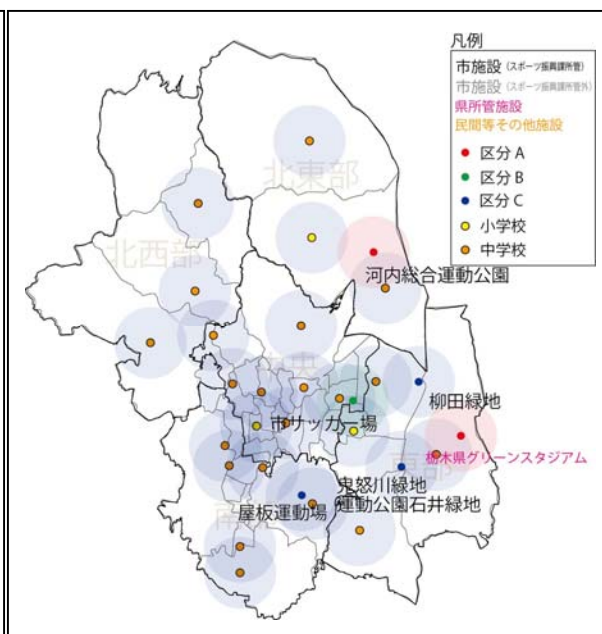
このため、運動場等を代表する野球場・サッカー場について、地域・市民利用の利便をみるため、地区をベースとしたカバー圏を設定すると、地域特性等により主に周辺地域にスポーツ施設を配置しています。

また、施設分布をみると、市有施設や県有施設に加え、小中学校の夜間開放により、ほとんどの地域において、エリア的なカバーがなされているものの、北西部地域については、小中学校の夜間開放以外の受け皿がほとんどない状況にあります。

野球場の分布



サッカー場の分布



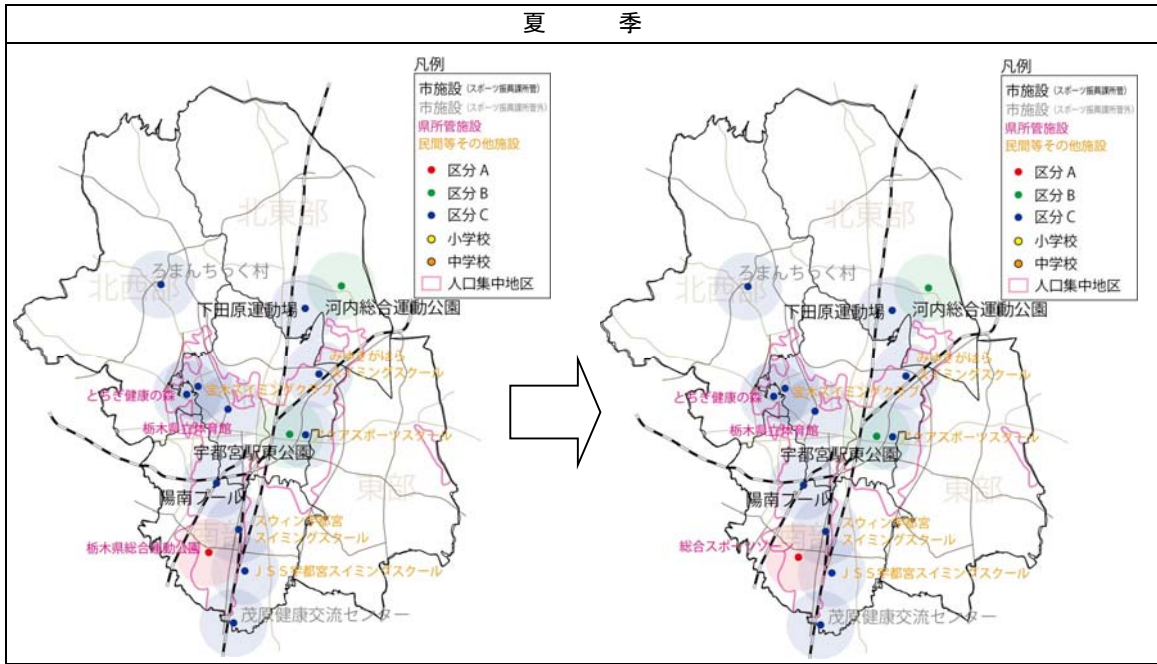
### (ウ) プール

プールについては、夏季利用を屋外・屋内プールが、通年利用を屋内プールが対応しており、通年利用が可能な屋内プールの利用ニーズが高い状況にあります。

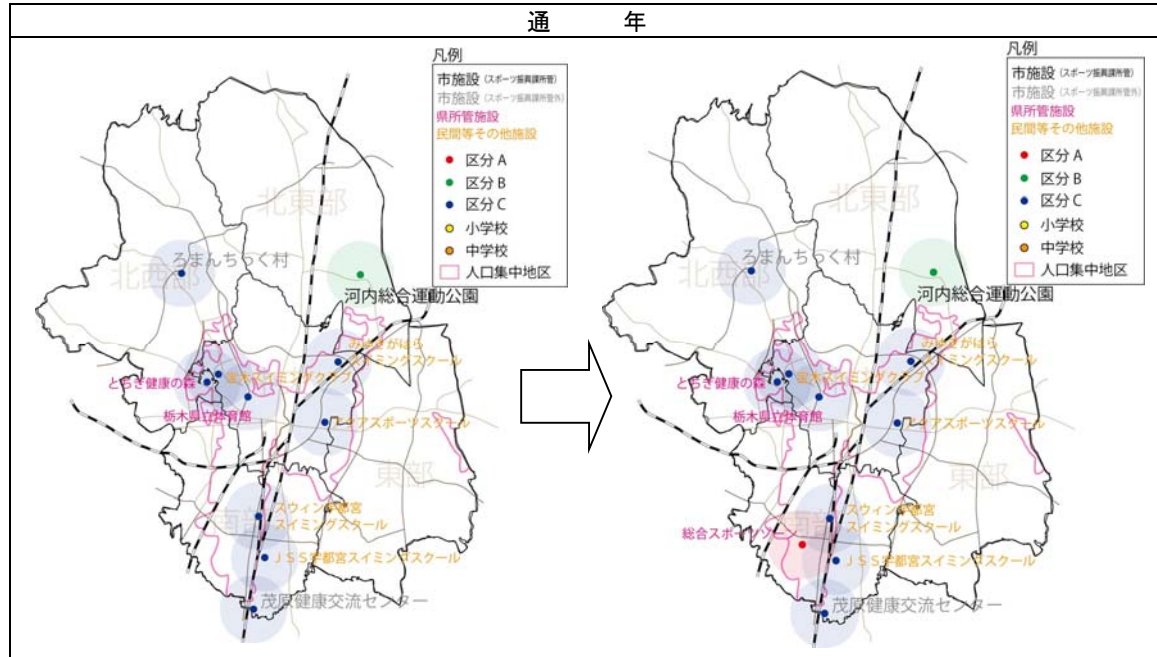
市有施設は、人口の多い中央地域や南部地域、また、周辺地域の主要幹線道路沿いなどに配置されており、一定のバランスを保っていると考えられます。

今後、計画に基づき陽南プールを廃止すると、夏季に対応する施設において、ややアクセス性が落ちる部分があるものの、栃木県総合スポーツゾーンの整備に伴い、利用ニーズの高い屋内プールについては、南部地域のアクセス性に優れた場所で機能向上が図られると考えられます。

夏 季



通 年



## イ 地域別の施設数・人口あたりの面積

地域別の施設数・人口あたりの面積みると、体育館等については、北西部地域に有効な受け皿がない状況にあり、高齢者における生涯スポーツや健康づくり等のニーズなどが、身近な施設で対応できていない状況にあります。

運動場等については、多くの敷地を必要とすることから、土地の高次利用が求められる中央地域には比較的少ないものの、アクセスしやすい他地域の施設が補完しています。また、多様なニーズに対応できる施設が北西部地域にない状況にあります。

プールについては、東部地域に受け皿がありませんが、比較的アクセスしやすい北東部地域や中央地域等の施設で補完できると考えられます。

### 地域別の施設数・人口千人あたりの面積

施設種別	主な実施競技 ( <u>    </u> は高齢者割合高い)	北西部	中央	東部	南部	北東部
体育館等（体育施設）	筋トレ、バドミントン、ヨギ、卓球、武道、バレー、バスケット等	0 0.0	2 67.9	1 153.9	2 34.7	2 147.7
体育館等（その他施設）	バドミントン、ヨギ、卓球、バレー、バスケット等	1	2	2	2	1
運動場等（多目的利用が可能な施設）	サッカー、野球、テニス（一部） グラウンドゴルフ、パタンク、ケートボール等	0 0.0	1 48.2	4 3,312.0	4 336.8	5 1,212.9
運動場等（その他施設）	サッカー、野球等の専用運動場、機能の限定的なグラウンド等	2	2	3	3	0
プール（体育施設）	水泳等	0	1	0	1	2
プール（その他施設）	水泳等	2	0	0	1	0

※上段：施設数，下段：人口千人あたりの面積（㎡）

※陽南プール，県体育館（プール館）は除外

## ウ 人口カバー率

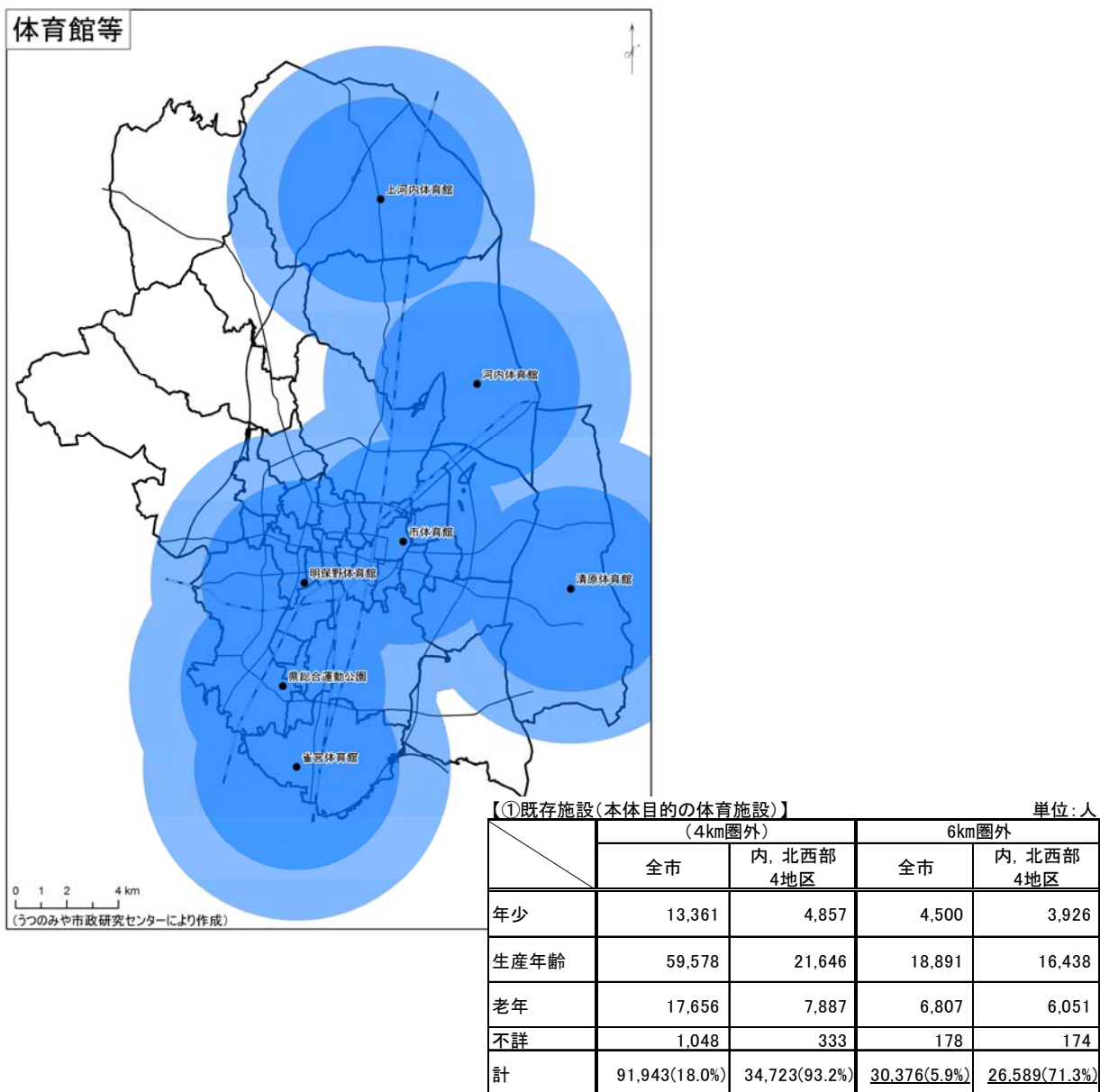
体育館等，運動場等について，さらに，連合自治会地区をベースに人口カバー率をみていくこととします。

なお，誘致圏の距離（半径）は，中学校区等の圏域とされる2次生活圏（最大半径6km，最適半径4km）をベースとし，人口は平成22年国勢調査における調査単位区別データを活用します。

### （ア）体育館等

既存体育施設（本来目的の体育施設のみ）でカバーしきれない，6km圏外の人口は，全市で3万人強と市の人口の約6%となります。

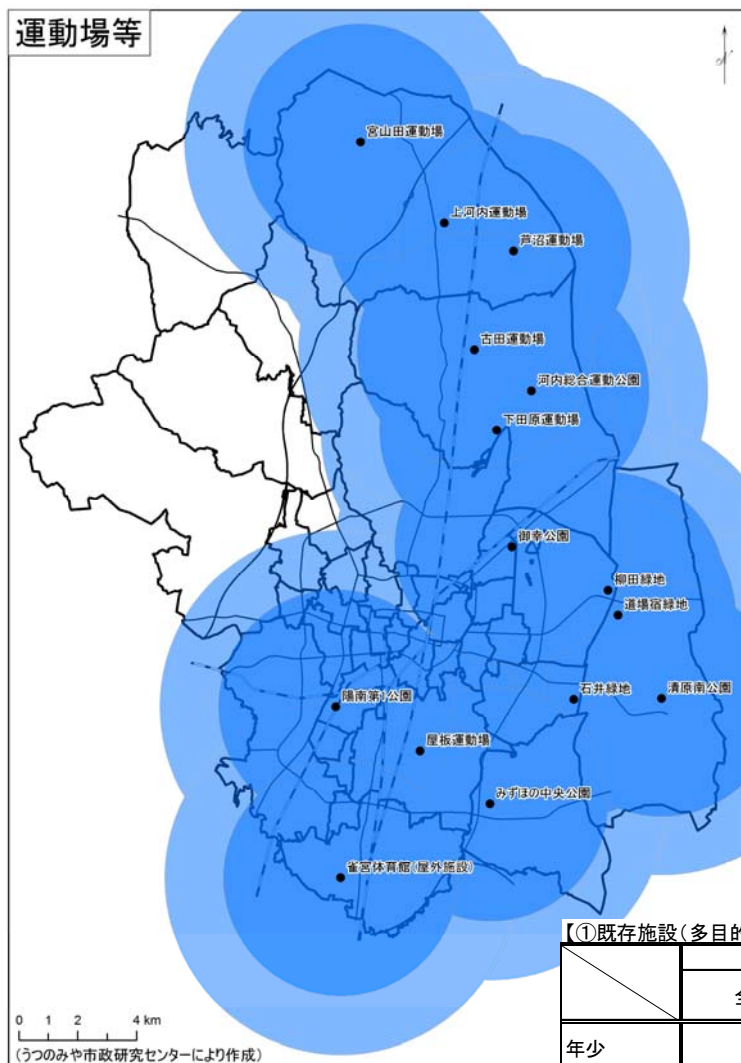
また，北西部地域で見ると，2万6千人強と地域人口の7割を超える人口がカバーできていないことになります。



### (イ) 運動場等

既存体育施設（多目的な利用が可能な体育施設のみ）でカバーしきれない、6 km圏外の人口は、全市で3万7千人強と市の人口の約7%となります。

また、北西部地域でみると、2万4千人強と地域人口の7割弱の人口がカバーできていないこととなります。



【①既存施設(多目的な利用が可能な体育施設)】 単位:人

	(4km圏外)		6km圏外	
	全市	内, 北西部 4地区	全市	内, 北西部 4地区
年少	13,402	5,133	5,401	3,564
生産年齢	60,136	23,034	23,339	15,123
老年	19,095	8,398	8,102	5,750
不詳	1,607	348	562	185
計	94,240(18.4%)	36,913(99.1%)	37,404(7.3%)	24,622(66.1%)

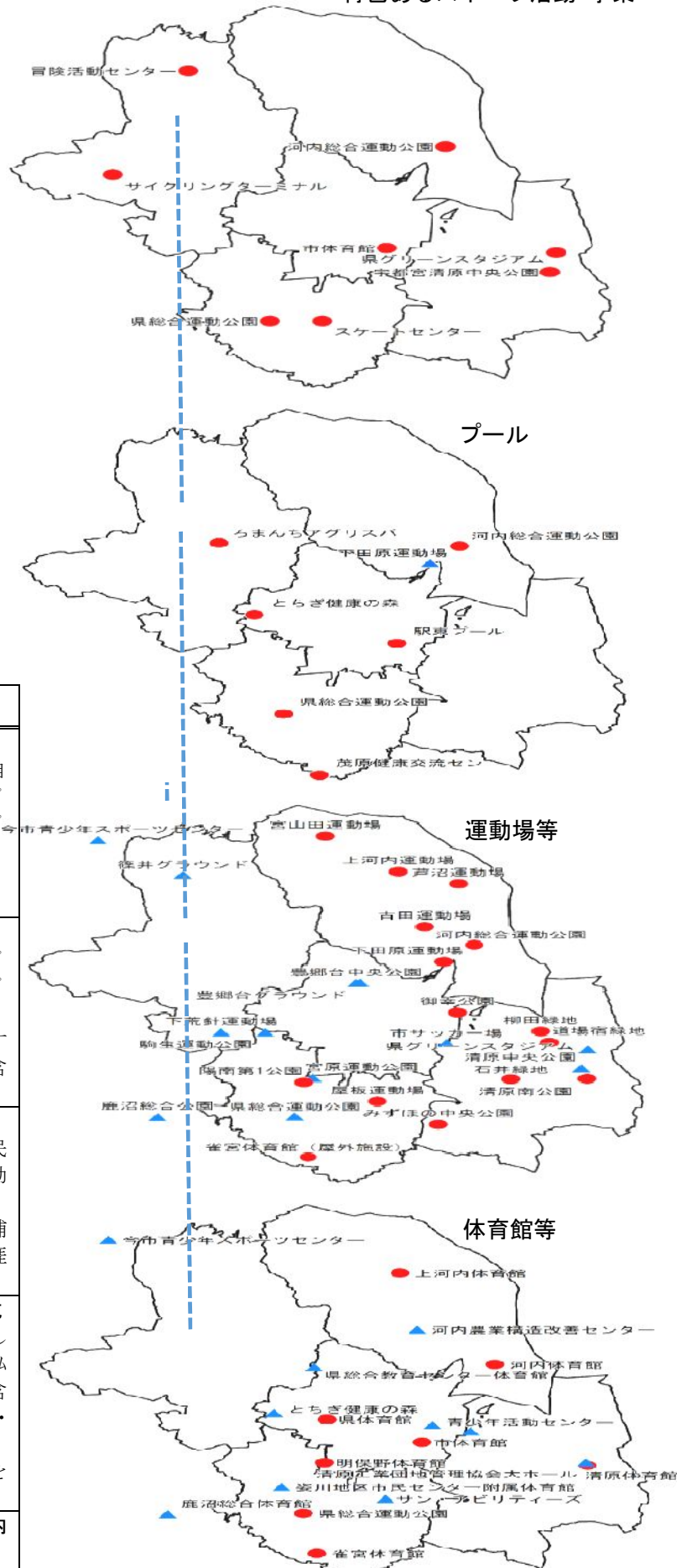


エ 施設配置の状況

(まとめ)

各地域で体育館等や運動場等において、生涯スポーツが行われており、これらの施設を活用して、本市が支援するプロチームの活動や教育課程の活動など、特色あるスポーツ活動・事業が展開されています。

しかしながら、北西部地域については、地域の特性を生かした施設での特色あるスポーツ活動・事業はあるものの、生涯スポーツの場となる体育館等や運動場等が乏しい状況にあります。



地域	地域の状況
北西部	<p>○豊かな自然環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>冒険活動センターでは、学校利用含めた自然体験活動、サイクリングターミナル周辺でのジャパンカップサイクルードレース開催など、特色あるスポーツ活動・事業あり</li> <li>一方、生涯スポーツの場となる体育館等、運動場等が乏しい</li> </ul>
中央	<p>○都市機能の集積</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市体において、アクセシビリティを生かし、プロバスケットボールチームの活動など、特色あるスポーツ活動・事業あり</li> <li>運動場等は少ないものの、アクセシビリティの高い他地域の施設で補完し、体育館等も含め、生涯スポーツの場を確保</li> </ul>
東部	<p>○鬼怒川貫流、新市街地、工業団地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>清原中央公園では、プロ野球誘致、市民マラソンが、県グリーンスタジアムプロサッカーチームの活動など、特色あるスポーツ活動・事業あり</li> <li>プールについては他地域へのアクセスでの補完となるが、体育館等、運動場等の生涯スポーツの場を確保</li> </ul>
南部	<p>○鉄道や主要幹線道路周辺に市街地が形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県総合運動公園は、国体のメイン会場として再整備、新体育館でプロバスケットボールチームが活動予定、スケートセンターでは学校利用も含めた各種利用など、特色あるスポーツ活動・事業あり</li> <li>体育館等、運動場等の生涯スポーツの場を確保</li> </ul>
北東部	<p>○農地・山林が多い、岡本駅周辺や上河内中里周辺などに市街地が形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>河内総合運動公園でのプロサッカーチームの活動など、特色あるスポーツ活動・事業あり</li> <li>体育館等、運動場等の生涯スポーツの場を確保</li> </ul>

#### (4) 民間スポーツ施設の状況

##### ア 本市に所在する民間スポーツ施設

社会教育調査資料（H27）から、本市に所在する民間スポーツ施設（個人立を除く）をみると、屋内施設ではトレーニング室、スタジオ、プール等を備える民間スポーツクラブや、ダンス教室等を行うスタジオが多く、屋外施設では、スクール等を行う庭球場が多く所在しています。

その他、ゴルフ場・ゴルフ練習場や武道場、ボウリング場、クライミングジムなどが所在しています。

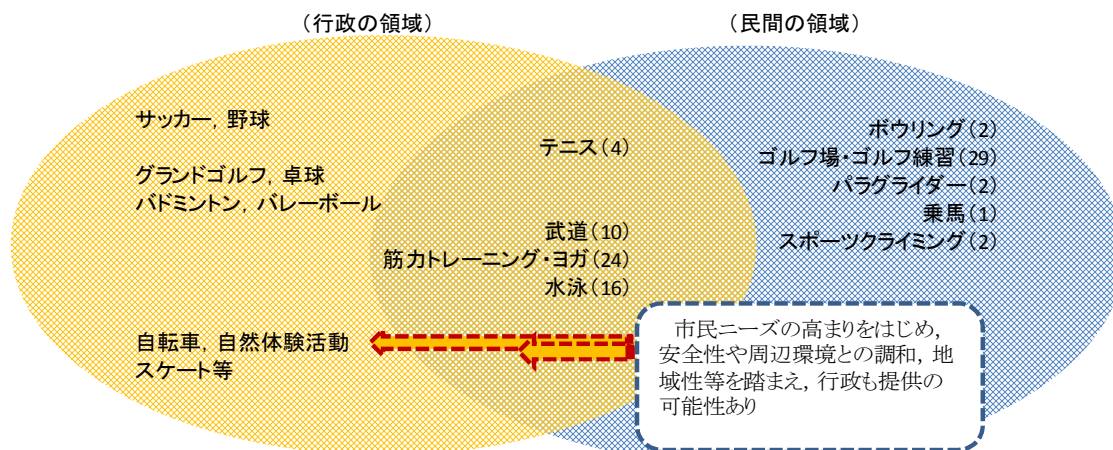
##### イ 公・民スポーツ施設の役割分担

公共は、広く市民が生涯にわたりスポーツに親しめるよう、普及度が高い競技や、多目的の利用ができる施設などを中心に、活動の場を提供しており、スポーツ以外にも、地域の祭や文化的行事など、さまざまな用途で施設が活用されている。

一方で、民間は、レジャー性の高い競技や注目を浴びている競技などを中心に、市場ニーズを捉え、活動の場を提供しています。

また、公共と民間の双方が活動の場を提供している領域においては、民間の屋内施設では、会員制等の民間スポーツクラブやダンス等のスタジオが多く、民間の屋外施設では、スクール等を行う庭球場がほとんどとなっています。

#### 公共と民間のサービス提供の領域（イメージ）



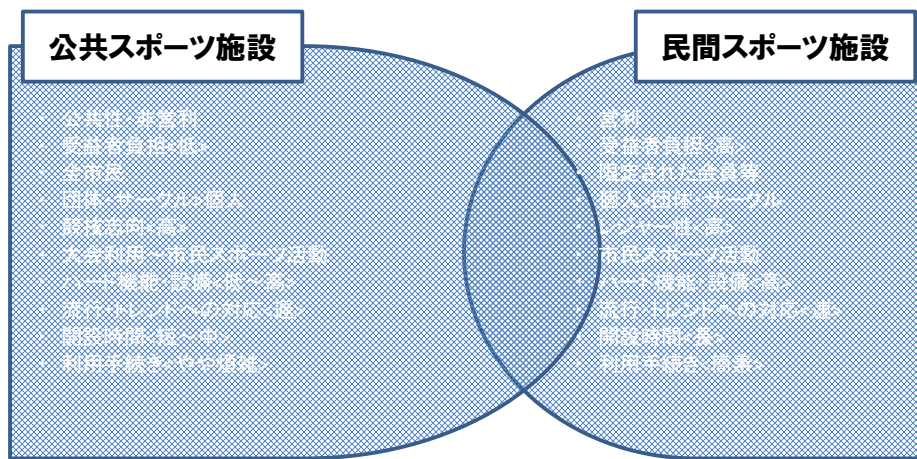
※括弧内の数は市内民間施設数(H27社会教育調査資料、個人立除く)

公共と民間の双方が活動の場を提供している領域において、公・民スポーツ施設の機能をみると、公共施設が、広く市民全体を対象にし、潜在ニーズの掘り起こしも含め、スポーツ人口の裾野拡大を図っていることに対し、民間施設は、市場ニーズを捉え、利用者に付加価値の高いスポーツ活動の機会を提供するなどの選択肢を提示しています。

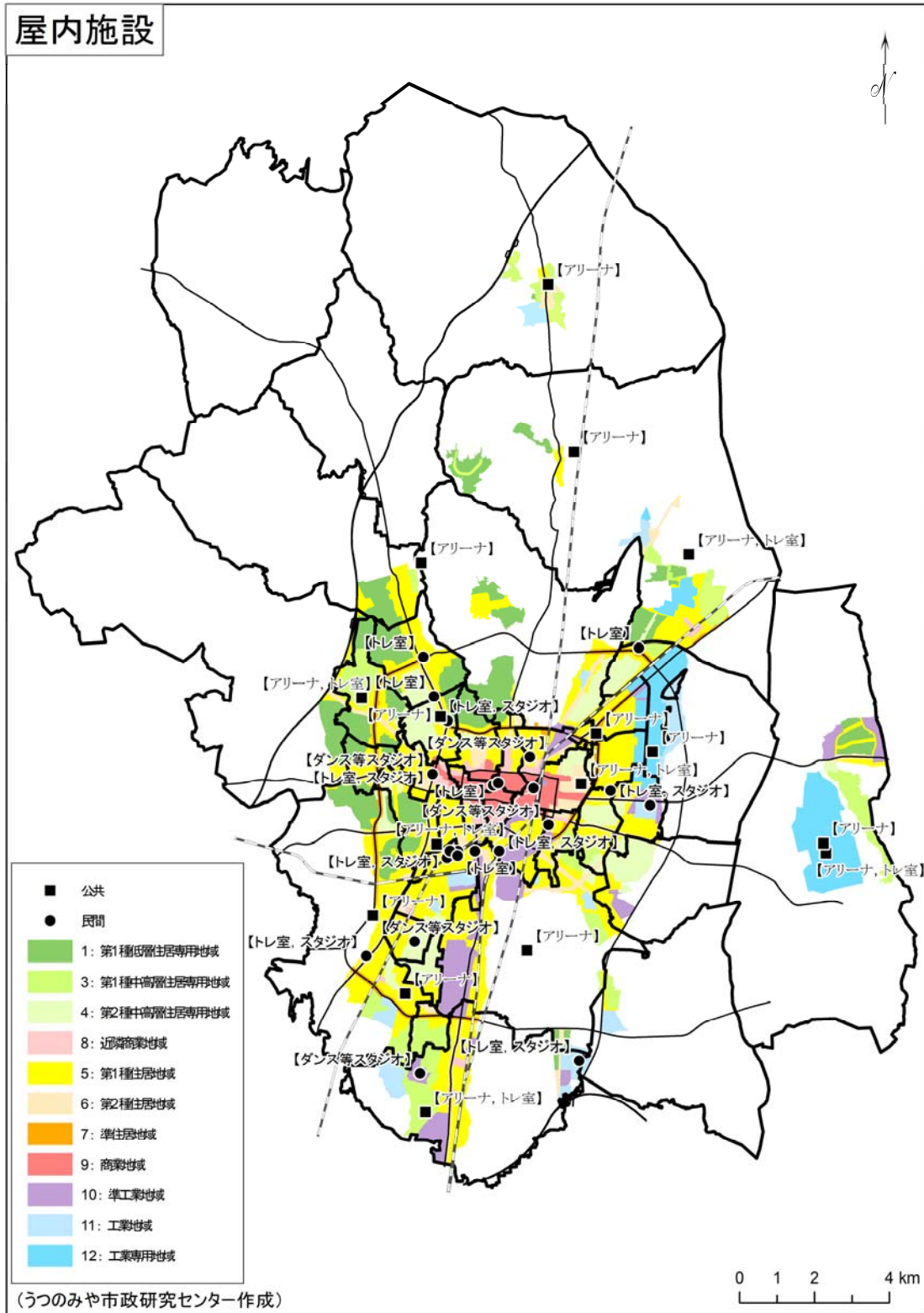
また、公・民スポーツ施設の配置をみると、民間施設は、ほぼ人口が集積する市街地に配置されており、公共施設は、一部地域に偏在化がみられますが、人口や配置バランス等を考慮し、全市的に配置されています。

このように、公・民の棲み分けがなされ、両立している状況にあると考えられます。

### 公・民スポーツ施設の棲み分けのイメージ



公・民スポーツ施設の配置状況（屋内施設）



### (5) その他施設等の状況

小中学校体育施設においては、学校開放事業（夜間開放を含む）の中で体育館、校庭などの地域開放に取り組んでおり、地域利用や地域スポーツクラブの活動、スポーツ少年団の活動など、さまざまな団体による活発なスポーツ活動が展開されています。

#### 小中学校開放・校庭夜間開放事業利用者数（H25～H27）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
屋内体育館	860,846	834,938	988,052
校庭(昼間)	654,507	613,570	625,460
プール	35,457	38,826	36,404
武道場	37,146	33,824	33,228
計	1,587,956	1,521,158	1,683,144
校庭(夜間)	73,501	85,286	87,869
計	73,501	85,286	87,869
合計	1,661,457	1,606,444	1,771,013

その他、道路・公園などの公共スペースにおいては、ウォーキングやサイクリング、ジョギング・ランニング、体操といったエクササイズ系のスポーツが中心に行われています。

本市においては、地域の健康づくりを推進するため、各地域の健康づくり推進員の取組の一つとして、ウォーキングマップを作成し、そのさらなる活用に取り組むとともに、身近な公園で高齢者が気軽に健康づくりができるよう、公園の新設や遊具の更新に合わせ、地域の意見を伺いながら、健康遊具の設置を進めています。

#### 4 スポーツ施設整備にあたっての課題

##### (1) 人口減少や人口構成の変化への対応

本市においても、今後、人口減少が予測されており、老年人口の増加等も見込まれます。

このため、スポーツ施設全体としては、こうした社会環境も見据えたあり方の検討を行うとともに、施設改修などにあたっては、高齢社会に適合した環境整備を行うなど、今後の人口減少や人口構成の変化に対応した施設整備が求められます。

##### (2) 施設配置の適正化

本市のスポーツ施設は、スポーツニーズや市域のスポーツ施設の整備状況の変化により、施設の配置が偏在化している状況があります。

また、栃木県における総合スポーツゾーンの整備等により、施設配置等への影響が予測されています。

このため、施設の役割の区分ごとに配置を検証し、地域に不足する機能を明らかにするとともに、施設配置の適正化のための方策を検討し、必要な対策を講じていくことが求められます。

##### (3) 利用者ニーズへの対応

本市のスポーツ施設は、プロスポーツやビッグスポーツイベント、各種競技大会の開催、市民や地域のスポーツ活動など、多様なスポーツ活動の場として活用されており、競技利用環境の充実や周辺環境等の整備、さらには、生涯スポーツ環境の充実など、さまざまな視点からの利用者ニーズがあります。

このため、優先度等を勘案しつつ、整備等の機会を捉えて、利用者ニーズに的確に対応することでスポーツ活動環境の充実を図っていくことが求められます。

##### (4) 老朽化への対応

本市のスポーツ施設は、昭和 50 年代に整備された施設が多く、全体的に老朽化が進んでいます。

このため、安心・安全に利用可能な施設整備や経年劣化による機能低下に対応した整備等について、計画的かつ着実に実施していくことが求められます。

##### (5) 防災機能の充実

東日本大震災では、避難所として指定されている体育館も含め、スポーツ施設に大きな被害を受け、基本的に施設利用の再開を主眼として、早急な対応に取り組みました。

今後は、施設の安全かつ安定的な運営を図るとともに、避難所としての活用も見据え、防災対策の視点から、機能向上を図ることが求められます。

#### **(6) プロスポーツ、ビッグスポーツイベントへの対応**

本市においては、プロスポーツ誘致やプロスポーツチーム支援に取り組んでおり、また、国民体育大会等のビッグスポーツイベントを控えています。

このため、プロスポーツチーム支援については、必要に応じ、所属リーグ規則等への対応や活動環境の充実等を検討するとともに、ビッグスポーツイベント等に際しては、通常  
の社会体育施設の利用を踏まえ、その環境整備と併せて、競技運営に対応した機能整備が  
図られるよう、対応が求められています。

#### **(7) 平準化を踏まえた整備スケジュール**

本市においては、施策・事業の優先化・重点化を図りながら、行財政運営にあたってい  
ます。

このため、スポーツ施設整備にあたっては、環境の変化や施設の老朽度、ビッグスポー  
ツイベント等の機会等を踏まえ、事業費の平準化を踏まえた整備スケジュールを策定し、  
効果的・効率的に施設整備を実現することが求められています。

### 第3章 計画の基本的な考え方

#### 1 計画策定の基本的な考え方

施設種別ごとに施設の配置状況を見極め、施設配置の適正化を図るとともに、重複性の高い施設や設置目的を果たした施設、施設需要が著しく減少している施設などについては、集約化や複合化、廃止を検討していきます。

また、公共スポーツ施設が担う役割や民間スポーツ施設が持つ役割、県有施設等との役割分担を踏まえ、市有スポーツ施設として必要な役割を見極め、本市におけるスポーツ活動環境の充実を図っていきます。

なお、具体的な整備計画・スケジュールの策定にあたっては、利用状況や稼働率、老朽化に伴う安全度を踏まえるとともに、ライフサイクルコストの観点から効果的・効率的な計画策定に努めることとします。

さらには、間近に控える国民体育大会等の機会も捉え、総合的な視点から、整備の優先化・重点化を図るとともに、利用者への影響に配慮し、整備に伴う休館・休場期間の圧縮と事業費の平準化の両立に努めながら、最適な整備スケジュールの実現に努めます。



## 2 施設の方向性

### (1) 施設の健全度や利用度を踏まえた方向性

各施設の「健全度評価（耐用年数と劣化度で評価）」と「利用度評価」の結果により、施設のあり方について検証するとともに、次表のとおり効果的・効率的な整備の方向性を導出します。

健全度評価	利用度評価	利用度評価+（施設の位置づけ・役割、社会ニーズ、地域性、施設量等の評価）													
		高(3.34~)				中(1.77~3.33)				低(~1.76)					
		継続利用を行う施設				継続利用を行う施設（経過観察）				複合利用または用途転換を検討すべき施設					
整備方針	施設名（競技名）	健全度評価	利用度	地域	施設名（競技名）	健全度評価	利用度	地域	施設名（競技名）	健全度評価	利用度	地域			
A ランク (3.77~)	計画修繕を実施する施設 大規模改修は実施しない	清原中央公園（体育館）	4.16	3.43	東部	河内総合運動公園（陸上競技場）	4.69	3.03	北東部						
		清原体育館（主競技場）	4.16	3.42	東部	平成記念子どもの森公園（体育館）	4.18	3.28	北西部						
		明保野体育館（プレイルーム）	4.13	4.14	中央	河内総合運動公園（多目的運動広場）	4.18	2.02	北東部						
		省宮体育館（多目的室）	4.03	3.94	南部	清原南公園（野球場）	4.16	2.53	東部						
		錦中央公園（ソフトボール場）	3.97	3.81	中央	明保野体育館（トレーニング場）	4.13	—	中央						
		清原体育館（副競技場）	3.93	3.70	東部	省宮体育館（トレーニング場）	4.03	—	南部						
		市体育館（武道館）	3.91	4.05	中央	市オクリグ ナミル（宿泊施設）	4.00	3.27	北西部						
		下田原運動場（弓道場）	3.88	4.01	北東部	錦中央公園（ゲートボール場）	3.97	—	中央						
		屋板運動場（庭球場）	3.79	4.19	南部	平成記念子どもの森公園（レストラン）	3.96	—	北西部						
						河内体育館格技場	3.94	2.52	北東部						
						河内体育館（トレーニング場）	3.94	—	北東部						
						上河内運動場（庭球場）	3.81	2.70	北東部						
						屋板運動場（多目的運動広場）	3.79	2.87	南部						
						屋板運動場（ゲートボール場）	3.79	—	南部						
		B + ランク (3.30~ 3.76)	当面は計画修繕を実施し概ね30年以内に大規模改修を実施する施設					平成記念子どもの森公園（キャンプ場）	3.74	—	北西部	鬼怒川石井緑地（ソフトボール場）	3.66	1.65	東部
								清原体育館（柔道場）	3.71	2.50	東部				
				明保野体育館（競技場）	3.68	4.27	中央	鬼怒川石井緑地（野球場）	3.63	2.44	東部				
						宇都宮駅東公園（屋外プール）	3.62	—	中央						
						市弓道場（弓道場）	3.61	—	南部						
河内体育館（競技場）	3.49			4.02	北東部	古田運動場（野球場）	3.58	2.40	北東部	高岡木キャンプ場	3.56	—	北東部		
清原中央公園庭球場	3.49			3.95	東部	清原体育館（剣道場）	3.49	3.08	東部						
						清原体育館（トレーニング場）	3.49	—	東部						
						河内総合運動公園（屋内プール）	3.45	—	北東部						
市サッカー場（サッカー場）	3.41			3.48	東部	省宮体育館（多目的運動広場）	3.40	3.10	南部						
						省宮体育館（庭球場）	3.40	2.91	南部						
						柳田緑地（ソフトボール場）	3.36	2.22	東部	宮山田運動場（野球場）	3.36	1.76	北東部		
						芦沼運動場（野球場）	3.36	2.00	北東部						
						御幸公園（野球場）	3.30	2.00	中央						
						みずほの中央公園（野球場）	3.30	2.41	東部						
						みずほの中央公園アーチェリー場	3.30	2.40	東部						
						隣南第一公園（ゲートボール場）	3.30	—	南部						
						隣南第二公園（運動広場）	3.30	—	南部						
B ランク (3.12~ 3.30)	当面は計画修繕を実施し概ね20年以内に大規模改修を実施する施設			錦中央公園（庭球場）	3.30	4.30	中央								
		隣南第一公園（野球場）	3.30	3.95	南部										
						市スケートセンター（スケートリンク）	3.23	—	南部						
						下田原運動場（野球場）	3.21	2.55	北東部						
						下田原運動場（庭球場）	3.21	2.31	北東部						
						下田原運動場（屋外プール）	3.21	—	北東部						
		省宮体育館（競技場）	3.14	4.20	南部	上河内運動場（野球場）	3.18	2.41	北東部						
						上河内体育館（卓球場）	3.11	2.07	北東部						
						鬼怒川石井緑地（多目的運動広場）	3.07	2.22	東部						
						柳田緑地（野球場）	3.05	2.52	東部						
		市体育館（主競技場）	3.02	4.28	中央	柳田緑地（サッカー場）	3.05	2.40	東部						
						清原中央公園（野球場）	2.99	2.84	東部						
						市オクリグ ナミル（レストラン）	2.93	—	北西部						
						駒生運動公園（野球場）	2.77	2.52	南部						
						宮原運動公園（庭球場）	2.68	2.87	南部						
						市オクリグ ナミル（レンタルサイクル）	2.67	—	北西部						
						みずほの中央公園（ゲートボール場）	2.64	—	東部						
						隣南第一公園相撲場	2.64	—	南部						
						市体育館（トレーニング場）	2.57	—	中央						
C ランク (2.13~ 2.57)	2年~10年以内の早期に大規模改修が必要な施設	施設名（競技名）	健全度評価	利用度	地域	施設名（競技名）	健全度評価	利用度	地域	施設名（競技名）	健全度評価	利用度	地域		
						宮原運動公園（野球場）	2.55	2.37	南部						
						上河内体育館（競技場）	2.45	2.78	北東部						
						道場宿緑地（ソフトボール場）	2.22	2.08	東部						
						道場宿緑地（野球場）	2.13	3.24	東部						
D ランク (~2.12)	早急に改築すべき施設	施設名（競技名）	健全度評価	利用度	地域	施設名（競技名）	健全度評価	利用度	地域	施設名（競技名）	健全度評価	利用度	地域		
						隣南プール（屋外プール）	2.06	—	南部	宮原運動公園（弓道場）★稼働停止中	2.05	—	南部		
										宮原運動公園（排球場）★稼働停止中	1.41	—	南部		

※ ◆マークの施設は、予防保全を行っても長寿命化の効果を得られない施設であり、大規模改修は行わずこれまで通り事後修繕を実施する。

## (2) 社会環境の変化や施設配置の状況を踏まえた方向性

### ア 施設配置の適正化に向けた機能整備

高齢者ニーズをはじめとした地域のスポーツニーズに対応するため、身近な施設がなく、利用や利便性が阻害されている状況にある北西部地域に必要な機能整備を図ります。

### イ 超高齢社会に対応した整備充実

超高齢社会に対応し、生涯スポーツ活動環境の充実を図るため、バリアフリー化整備など、高齢者や障がい者を含めた誰もが利用しやすい施設整備を推進するとともに、憩いの場の創出など効果的な付帯機能の充実の検討を行います。

また、高齢者をはじめとした多様なスポーツニーズに対応できるよう、ニュースポーツ・軽スポーツ活動環境の充実を図ります。具体的には、各種大会等での利用状況も踏まえ、実施可能な運動場等について、今後、施設の複合的利活用を図っていきます。

特に平日の日中に新たな利用が込め、かつエリアごとの配置バランスに優れる野球場・ソフトボール場について、複合的利活用により、生涯スポーツ活動環境の充実を図ります。

### (3) 施設区分や位置付けを踏まえた方向性

#### ア 施設区分の設定

公共スポーツ施設に加え、地域スポーツや市民スポーツ利用にも対応する民間施設について、市民利用施設と捉え、これら施設の役割分担を整理するため、スポーツ施設に求められるニーズや各施設の利用格式などの利用実態、施設の規模・機能などから、次の三つの区分を設定します。

区分	定義	整備が求められる機能水準
A	プロスポーツ、全国・関東大会の開催実績があること	<p>■屋内施設（体育館）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>必要な観覧席を設けていること</li> <li>複数のアリーナ競技場を有し、大会効率に優れること</li> <li>空調設備を有していること</li> <li>アリーナ競技場以外にもスポーツ施設を設けていること</li> <li>管理事務所を備えていること</li> </ul> <p>■屋外施設</p> <p>【野球場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内外野フェンスを有し、かつ必要な観覧席を設けていること</li> <li>夜間照明設備を有していること</li> <li>硬式野球が可能であること</li> <li>管理事務所を備えていること</li> </ul> <p>【サッカー場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>必要な観覧席を設けていること</li> <li>複数のサッカー競技場を有し、大会効率に優れること</li> <li>管理事務所を備えていること</li> </ul> <p>【庭球場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>十分な面数を有し、大会効率に優れること</li> <li>全天候型競技場であること</li> <li>夜間照明設備やクラブハウスを備えていること</li> </ul>
B	主として県・市大会の会場として利用されていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>大会効率に比較的優れること</li> <li>(・その他、施設や競技の特性に応じた機能)</li> </ul>
C	主として地域、市民のスポーツ活動の場として利用されていること	

#### イ 各施設の区分

##### (ア) 体育館等

体育館については、観客席やサブアリーナ等を有する拠点施設である市有施設や、県体育館などにおいて、格式の高い大会の需要を担っており、今後、県の総合スポーツゾーン整備により、プロバスケットボールへの対応など、充実が図られる計画となっています。

また、さまざまな目的で設置された施設も含め、A～Cの各区分の施設において、各レベルの競技大会や多様な目的の地域・市民利用に対応しています。

こうした中、市有施設において、整備が求められる機能水準と対比すると、A区分の清原体育館に空調設備が備わっていない状況にあります。

施設種別	区分	所管	施設	利用格式						観覧席	競技場	管理事務所	空調設備	
				プロ	全国大会	関東大会	県大会	市大会	その他大会					地域・市民利用
体育館	A	市	市体育館	○	○	○	○	○	○	○	2,500	2	○	○
	A	市	清原体育館	○	○	○	○	○	○	○	1,900	2	○	—
	B	市	明保野体育館	—	—	—	—	○	○	○	—	1	○	—
	B	市	雀宮体育館	—	—	—	○	○	○	○	—	1	○	—
	B	市	上河内体育館	—	—	—	—	○	○	○	—	1	○	—
	B	市	河内体育館	—	○	—	○	○	○	○	—	1	○	—
	D	市	冒険活動センター	—	—	—	—	—	—	○	—	1	○	—
	B	市他	サン・アビリティーズ	—	—	—	○	○	○	○	—	1	○	—
	C	市他	青少年活動センター	—	—	—	—	—	—	○	—	1	○	—
	C	市他	河内農業構造改善センター	—	—	—	—	—	—	○	—	1	○	—
	C	市他	姿川地区市民センター附属体育館	—	—	—	—	—	—	○	—	1	—	—
	C	市他	小中学校体育館	—	—	—	—	—	—	○	—	1	—	—
	A	県	県体育館	—	○	○	○	○	○	○	1,920	2	○	—
	B	県	県総合運動公園トレーニングセンター	—	—	—	○	○	○	○	—	1	○	—
	C	県	県総合教育センター体育館	—	—	—	—	—	—	○	—	1	○	—
	C	県	とちぎ健康の森	—	—	—	—	—	—	○	—	1	○	○
	C	他	平出工業団地管理センター体育館	—	—	—	—	—	—	○	—	1	○	—
	C	他	清原工業団地管理協会大ホール	—	—	—	—	—	—	○	—	1	○	—

(イ) 運動場等

① 陸上競技場

陸上競技場については、県総合運動公園において格式の高い大会の需要を担い、市有施設の河内総合運動公園については、地域・市民利用に対応しています。また、今後、県の総合スポーツゾーン整備により、陸上競技場が改修され、機能的な充実が図られる計画となっています。

施設種別	区分	所管	施設	利用格式						公認	観覧席	多目的利用 (77-等)	
				プロ	全国大会	関東大会	県大会	市大会	その他大会				地域・市民利用
陸上競技場	C	市	河内総合運動公園	—	—	—	—	—	○	○	—	342	○
	A	県	県総合運動公園	—	○	○	○	○	○	○	○	24,000	○

② 野球場

野球場については、宇都宮清原球場や県総合運動公園などで格式の高い大会の需要を担っており、A～Cの各区分の施設において、各レベルの競技大会や地域・市民利用に対応しています。

こうした中、市有施設において、対応種目に着目すると、硬式野球に対応できる施設が少なく、加えて、地域・市民利用に主に活用されているC区分の施設では、対応ができない状況となっています。

施設種別	区分	所管	施設	利用格式							観覧席	フェンス	夜間照明	硬式野球	管理事務所	
				プロ	全国大会	関東大会	県大会	市大会	その他大会	地域・市民利用						
野球場	A	市	宇都宮清原球場	○	○	○	○	○	○	○	約18,000	○	○	○	○	
	B	市	宮原運動公園	—	—	○	○	○	○	○	約9,000	○	—	○	○	
	B	市	駒生運動公園	—	—	○	○	○	○	○	約1,000	—	○	—	○	
	B'	市	鬼怒川緑地運動公園石井緑地	—	—	—	○	○	○	○	—	—	—	—	○	
	B'	市	柳田緑地	—	—	—	○	○	○	○	—	—	—	—	○	
	B'	市	道場宿緑地	—	—	—	○	○	○	○	—	—	—	—	○	
	B'	市	屋板運動場	—	—	—	○	○	○	○	—	—	○	—	○	
	B'	市	清原南公園 <small>(宇都宮清原球場のサブグラウンドとしての利用)</small>	(○)	(○)	(○)	○	○	○	○	—	—	—	—	—	
	B'	市	河内総合運動公園	—	—	—	○	○	○	○	—	—	○	—	○	
	B'	市	下田原運動場	—	—	—	○	○	○	○	—	—	○	—	○	
	C	市	みずほの中央公園	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	
	C	市	御幸公園	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	
	C	市	陽南第一公園	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	
	C	市	上河内運動場	—	—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	○	
	C	市	富山田運動場	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	
	C	市	芦沼運動場	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	
	C	市	古田運動場	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	
	C	市	小中学校校庭夜間開放	—	—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	
	A	県	県総合運動公園	○	○	○	○	○	○	○	—	約15,000	○	—	○	○

### ③ サッカー場

サッカー場については、県グリーンスタジアムや河内総合運動公園などで格式の高い大会の需要を担っており、A～Cの各区分の施設において、各レベルの競技大会や地域・市民利用に対応しています。また、今後、県の総合スポーツゾーン整備により、新スタジアム（陸上競技場兼サッカー場）がJリーグ施設基準準拠として整備されるなど、充実が図られる計画となっています。

こうした中、市有施設については、市サッカー場の人工芝化、河内総合運動公園（陸上競技場兼サッカー場）のティフトン芝化などを行っており、利用ニーズや利用効率、他施設を含めた利用状況等も踏まえながら、機能向上や利用環境の充実を図っています。

施設種別	区分	所管	施設	利用格式							観覧席	面数	管理事務所
				プロ	全国大会	関東大会	県大会	市大会	その他大会	地域・市民利用			
サッカー場	A	市	河内総合運動公園	○	○	○	○	○	○	○	342	2	○
	B	市	市サッカー場	—	—	○	○	○	○	○	2,441	1	○
	C	市	鬼怒川緑地運動公園石井緑地	—	—	—	—	○	○	○	—	6	○
	C	市	柳田緑地	—	—	—	—	○	○	○	—	1	○
	C	市	屋板運動場	—	—	—	—	○	○	○	—	1	○
	C	市	小中学校校庭夜間開放	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—
	A	県	県グリーンスタジアム	○	○	○	○	○	○	○	約15,000	2	○
	A	県	県総合運動公園	—	○	○	○	○	—	—	約7,000	5	○
	C	民間	民間フットサル場等	—	—	—	—	—	—	○	—	—	○

### ④ 庭球場

庭球場については、県総合運動公園や屋板運動場で格式の高い大会の需要を担っており、A～Cの各区分の施設において、各レベルの競技大会に対応するとともに、民間テニスクラブも含め、地域・市民利用に対応しています。

こうした中、市有施設において、整備が求められる機能水準と対比すると、A区分の屋板運動場が、競技大会運営や選手・利用者環境を担うクラブハウスが備わっていないなどの状況にあります。

また、日常の地域・市民利用を主に担うC区分の施設において、通年利用が可能な全天候型の対応が少ない状況にあります。

施設種別	区分	所管	施設	利用格式							面数	全天候	クラブハウス
				プロ	全国大会	関東大会	県大会	市大会	その他大会	地域・市民利用			
庭球場	A	市	屋板運動場	—	○	○	○	○	○	○	15	○	—
	B	市	清原中央公園	—	—	—	○	○	○	○	8	○	—
	C	市	宮原運動公園	—	—	—	—	—	—	○	6	—	—
	C	市	雀宮体育館屋外施設	—	—	—	—	—	—	○	2	—	—
	C	市	錦中央公園	—	—	—	—	—	—	○	2	—	—
	C	市	上河内運動場	—	—	—	—	—	—	○	2	○	—
	C	市	下田原運動場	—	—	—	—	—	—	○	2	—	—
	C	市他	河内農業構造改善センター	—	—	—	—	—	—	○	2	○	—
	C	市他	豊郷台中央公園	—	—	—	—	—	—	○	2	—	—
	A	県	県総合運動公園	—	○	○	○	○	○	○	16	○	○
	C	県	県総合教育センター庭球場	—	—	—	—	—	—	○	2	—	—
	C	他	清原工業団地管理協会テニスコート	—	—	—	—	—	—	○	2	○	—
	C	民間	民間テニスクラブ等	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—

### ⑤ ソフトボール場

ソフトボールについては、大会効率に優れる柳田緑地において格式の高い大会の需要を担っており、A～Cの各区分の施設において、各レベルの競技大会や地域・市民利用に対応しています。

施設種別	区分	所管	施設	利用格式						
				プロ	全国大会	関東大会	県大会	市大会	その他大会	地域・市民利用
ソフトボール場	A	市	柳田緑地	—	—	○	○	○	○	○
	B	市	道場宿緑地	—	—	—	○	○	○	○
	C	市	錦中央公園	—	—	—	—	—	—	○
	B	県	県総合運動公園球技広場	—	—	—	○	○	○	○

### (ウ) 弓道場

弓道場については、市弓道場において高い大会の需要を担っており、他の施設とともに、各レベルの競技大会や地域・市民利用に対応しています。また、今後、県の総合スポーツゾーン整備により、新武道場が整備され、機能的な充実が図られる計画となっています。

施設種別	区分	所管	施設	利用格式						
				プロ	全国大会	関東大会	県大会	市大会	その他大会	地域・市民利用
弓道場	A	市	市弓道場	—	—	○	○	○	○	○
	C	市	下田原運動場	—	—	—	—	—	—	○
	C	県	県体育館	—	—	—	○	○	○	○

### (エ) プール

プールについては、県総合運動公園において格式の高い大会の需要を担い、市有施設の河内総合運動公園においては、市レベルの大会需要を担っており、A～Cの各区分の施設において、各レベルの競技大会に対応するとともに、民間スイミングスクール等も含め、市民利用に対応しています。また、家族連れなどレジャー目的での需要については、他自治体に所在する施設への志向性が高いと考えられます。

こうした中、陽南プールについては、老朽化が著しく、利用ニーズ等を考慮し、廃止に向けて検討することが必要となっていますが、一方で、今後、県の総合スポーツゾーン整備により、新設される屋内水泳場が50m、25mなどの国内公認を取得し、整備される計画となっています。

施設種別	区分	所管	施設	利用格式							屋内・屋外の別	観客席	公認
				プロ	全国大会	関東大会	県大会	市大会	その他大会	地域・市民利用			
プール	B	市	河内総合運動公園	—	—	—	—	○	—	○	内	192	○
	B	市	宇都宮駅東公園	—	—	—	—	—	—	○	外	—	○
	C	市	陽南プール	—	—	—	—	—	—	○	外	—	—
	C	市	下田原運動場	—	—	—	—	—	—	○	外	—	—
	C	市他	ろまんちっく村アグリSPA	—	—	—	—	—	—	○	内	—	—
	C	市他	茂原健康交流センター	—	—	—	—	—	—	○	内	—	—
	A	県	県総合運動公園	—	○	○	○	—	—	○	外	1,000	○
	C	県	県体育館プール館	—	—	—	—	—	—	○	内	—	○
	C	県	とちぎ健康の森	—	—	—	—	—	—	○	内	—	—
	C	民間	民間スイミングスクール等	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—

## ウ 施設の位置付け

市有スポーツ施設については、県有施設や民間施設も含め、施設種別ごとの特性に応じ、利用ニーズに対応しています。

こうした中、市有施設においても、とりわけ、高い機能性を有する代表的施設については、さまざまな競技利用や幅広い地域・市民利用に供され、競技の振興や市民生活に欠かせないものとなっています。

こうしたことから、各施設の区分や地域の拠点性等を踏まえ、拠点施設等として位置付け、中長期的な視点から、多様なニーズや老朽化等に対応するための必要な整備について、計画的かつ優先的・重点的に行うものとします。

### (ア) 体育館等

全国大会から市民利用まで幅広い需要に応える整備水準の高い施設で、かつプロスポーツ活動環境充実の観点からも施設機能の充実が求められるなど、全市的な配置バランスを担う施設について、拠点施設として位置付けます。

**体育館：拠点施設** ➤市体育館，清原中央公園（清原体育館）

また、拠点施設に準じる機能を有する施設で地域の生涯スポーツの拠点となり、かつ避難所及び地域の活動拠点として一定以上の安全性・利便性が求められる施設について、準拠点施設として位置付けます。

**体育館：準拠点施設** ➤明保野体育館，雀宮体育館，上河内体育館，河内体育館

### (イ) 運動場等

全国大会から市民利用まで幅広い需要に応える整備水準の高い施設で、かつプロスポーツ活動環境充実の観点からも施設機能の充実が求められる施設について、拠点施設として位置付けます。

**野球場：拠点施設** ➤清原中央公園（宇都宮清原球場）

**サッカー場：拠点施設** ➤河内総合運動公園

また、拠点施設に準じる機能を有する施設で、かつ避難所及び地域の活動拠点として一定以上の安全性・利便性が求められる施設について、準拠点施設として位置付けます。

**野球場：準拠点施設** ➤宮原運動公園

## 第4章 施設整備計画

### 1 施設整備の基本的な考え方

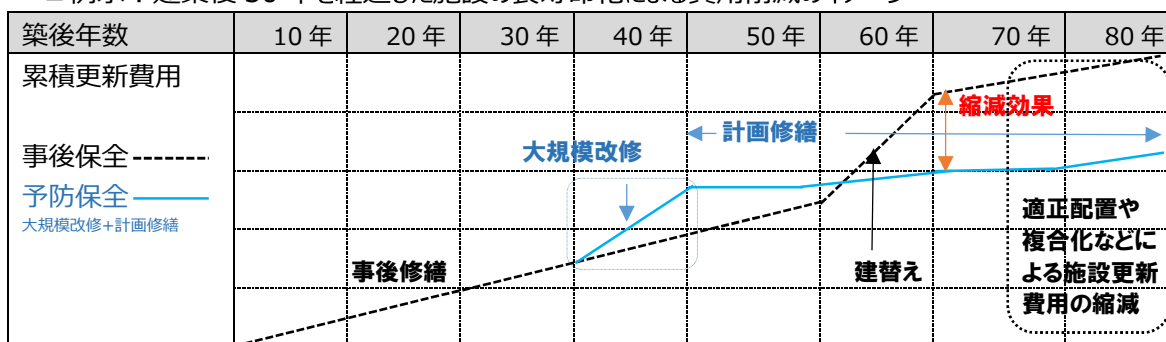
「宇都宮市総合管理計画」によると、今後40年間の公共施設の更新費用1兆690億円のうち、2,527億円が不足すると想定されており、これを施設の長寿命化や施設規模の適正化で削減していく必要があるとしています。

このため、本計画において、新たな機能整備等にも対応しつつ、予防保全型の施設整備による長寿命化や更新コストの平準化を基本的な考え方として、体育施設整備を実施していきます。

#### (1) 予防保全型整備への転換

利用状況、稼働率及び健全度調査結果を踏まえた上で、これまでの事後保全型の施設整備から、施設の長寿命化やライフサイクルコストの削減を実現できるより効果的・効率的な整備手法である“予防保全型の施設整備”への転換を図ります。

##### ■ 例示：建築後30年を経過した施設の長寿命化による費用削減のイメージ



#### (2) 改修に合わせた安心・安全の確保，利便機能の整備

予防保全型への転換を図ることによって、更新・改築コストが削減できるほか、改修の時期を計画的に設定することが可能となります。

このことにより、計画的な整備が難しかった既存不適格施設の法対応化やバリアフリー、ニュースポーツ活動環境の充実等の利便機能の整備，また，環境負荷やエネルギー効率に配慮した設備への更新などについても，この計画的な改修に合わせて実施することで，財政負担の軽減と施設の休館・休場の短縮を両立していきます。

この中で，既存不適格施設の法対応化（吊天井・吊バスケットゴール等）については，施設の安心・安全の確保はもとより，避難所として適切な整備となるよう，関連計画との整合を踏まえながら，早期の対応を図ります。

#### (3) ビッグスポーツイベントに対応した機能整備

予防保全を行うことで将来的な改修・更新費用及び時期を把握することが可能となるため，事業費の平準化や同種の施設が休館・休場とならないよう，スケジュールの調整を行いながら，国民体育大会等のビッグスポーツイベントの機会を捉えた機能整備を行うこととします。



#### (4) 施設の位置付けに応じた機能整備の優先化・重点化

予防保全スケジュールに基づく施設の機能向上整備にあたっては、各施設の利用格式・区分に留意しながら、拠点施設・準拠点施設について優先的・重点的に整備を行っていきます。

## 2 主な施設の整備計画

### (1) 施設の健全度や利用度を踏まえた施設整備

#### ア 宮原運動公園の再整備

##### (ア) 再整備基本計画

宮原運動公園は、昭和 30 年代後半から順次整備され、その中で、野球場は、昭和 49 年に整備（昭和 51 年スタンド改修）されて以来、大きな改修は行っておらず老朽化が著しい状況にあります。

また、既存施設の一部について、スポーツニーズとの乖離が表面化しているとともに、社会環境や周辺環境等を踏まえ、機能のリニューアルを図っていくことが求められています。

関連計画である「第 2 次宇都宮市緑の基本計画」（平成 23 年 3 月策定）には、スポーツやレクリエーション活動を支える運動施設として宮原運動公園を位置付け、「地域がつくり、地域に愛される公園づくり」の施策では、老朽化した既存公園について、新たな地域ニーズを踏まえながら、幅広い利用に対応した公園への再整備を行うとしています。

これらのことから、新たなニーズを踏まえ、公園全体の再整備に取り組んでいきます。

#### 宮原運動公園の概要

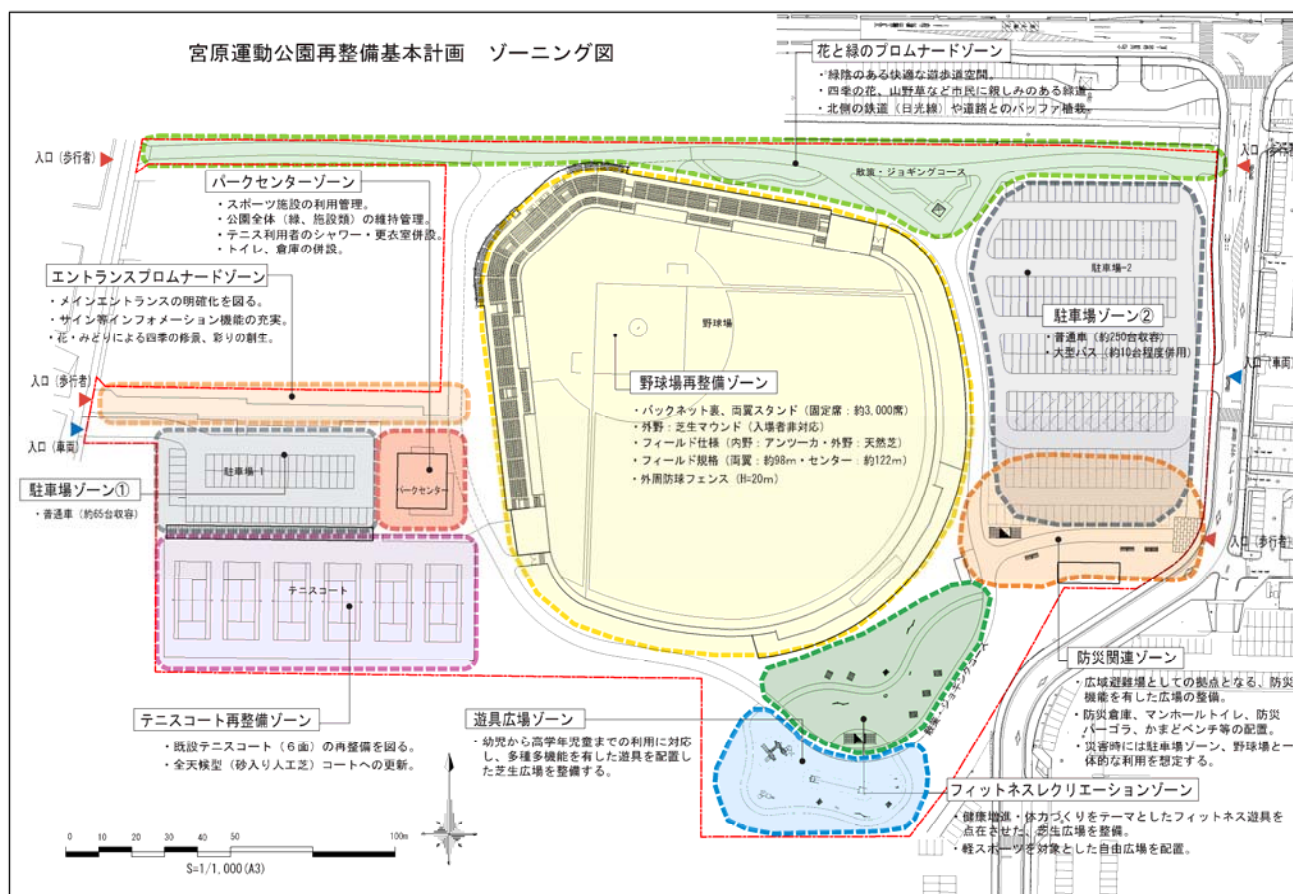
所在地	宇都宮市陽南 4 丁目 5 番 6 号
交通機関	関東バス陽西経由江曾島行き 市営球場入口下車 10 分
敷地面積	50,703.79 m <sup>2</sup> 駐車場（乗用車 61 台）公園広場（乗用車 293 台）
施設内容	野球場、庭球場、排球場、弓道場
整備年	昭和 36 年 9 月 野球場 A 面 昭和 37 年 7 月 野球場 B 面（昭和 47 年廃止） 昭和 38 年 8 月 弓道場 昭和 39 年 12 月 排球場 昭和 45 年 6 月 野球場、庭球場の照明設備 昭和 46～49 年 野球場改修工事（2 面→1 面、大谷石積フェンス→スタンド <sup>※</sup> 、照明上昇） 昭和 52 年 庭球場改修（4 面→6 面） 平成 26 年 野球場照明設備解体

ゾーニング計画など、公園再整備の基本計画を踏まえ、今後、野球場については、老朽化したスタンドの解体を行った上で、硬式野球にも対応できる施設として再整備を行います。

また、公園全体については、飽和状態にある庭球場の再整備や健康づくり・体力づくり、子育て世代への対応、広域避難所としての機能整備等を含め、地域のさまざまなニーズを捉えた再整備を行います。

## 導入施設の概要

導入機能	再整備における導入機能	整備の概要
スポーツ機能	野球場、テニスコートのスポーツ機能をリニューアルし存続	[野球場] ・ 観客席 9,000⇒3,000 席 ・ 日中利用に限定 ・ 軟式、硬式野球に対応 [庭球場] ・ クレイコート⇒人工芝 ・ 夜間照明の改修（レクリエーションレベル）
健康増進機能	地域住民の多様なレクリエーションニーズに対応し、フィジカルな利用を促すことで、利用者の日常的な健康増進に寄与	・ 排球場、弓道場、相撲場を解体⇒フィットネスレクリエーション、遊戯広場の機能整備、また、ジョギングコース等を整備
市民交流機能	子育て世代や高齢者の利用を促進することで、公園利用者を中心とした市民交流の場として活用	
修景機能等	修景機能の充実による魅力向上、親水機能など利用ニーズが見込まれる機能の導入	
遊戯機能	子どもや一般利用者が安全かつ日常的に活動できる遊戯機能の付加	・ 管理事務所⇒パークセンター（利用者の更衣室等）  ・ かまどベンチや防災パーゴラ等の配置
管理機能	公園施設の利用者の利便や、スポーツ施設の安全確保、維持管理等を担う管理機能の充実	
防災対応機能	地域の防災拠点としての機能	



### (イ) 想定スケジュール

野球場のスタンドについては、特に老朽化が激しいため、早期の解体を行います。

また、野球場も含めた公園全体の再整備については、事業規模が大きく、特定財源の確保も含め、中期的な対応を視野に入れる必要があることから、野球場利用者の利便の低減へ対応するため、暫定利用のための整備を行うとともに、公園全体の利用が停止しないよう段階的に機能整備するなど、効果的な再整備の方策を検討しながら、着実に進めていきます。

	前 期 (H29~H32 年度)	後 期 (H33~36 年度)
宮原運動公園再整備	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 野球場解体</li><li>・ 野球場の暫定利用のための整備</li><li>・ 公園全体の効果的な再整備の方策の検討, 段階的な機能整備</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 野球場改築</li><li>・ 公園全体の段階的な機能整備 (終期末定)</li></ul>

## イ プールの廃止

屋外プールのあり方については、現行の「スポーツ施設整備計画」（平成19年5月策定）において、水上公園プール、陽南プールについて、利用者が著しく減少していることから「廃止する方向で検討する」としており、第4次行政改革大綱に基づく事業の見直しの中で検討してきており、早急に廃止する方向としていた水上公園プールは、著しい老朽化に加え、東日本大震災による破損により廃止しました。

### （ア）水上公園プールの解体

プールの廃止後、水上公園については、プール利用者の減少や地域のスポーツ施設の配置状況も勘案するとともに、新たな地域ニーズを踏まえながら、幅広い利用に対応した地域住民の憩いとレクリエーションの場となる地区公園として、関連計画である「第2次宇都宮市緑の基本計画」に基づき、再整備を検討しているところであり、この状況を踏まえ、既存施設の解体工事を行っていきます。

### （イ）陽南プールの廃止に向けた検討

陽南プールについては、水上公園プール廃止後も利用者が減少傾向にあり、屋外プールのニーズが過多の状況にはないことが予測されます。

今後、栃木県総合スポーツゾーンにおける屋内プールが整備されると（平成33年予定）、利用ニーズの高い屋内プールについては、アクセス性に優れた場所での機能向上により、充実が図られると考えられることから、新施設の利用形態なども踏まえつつ、同時期の廃止を視野に具体的な検討を行います。

なお、施設の老朽化が著しい状況にあることから、大規模改修等が必要な故障が生じた際には、その時点での休止・廃止を検討します。

## ウ 総合的な視点も加えた施設の見直しの検討

サイクリングターミナルについては、宿泊施設やレストラン等を有し、森林公園内の隣接地にサイクリングロードを持つなど、子どもから高齢者、競技志向の方まで幅広くサイクリングを楽しめる施設として親しまれており、健全度・利用度をみると、宿泊施設が健全度「Aランク」、利用度「中」であるなど、計画修繕を行いながら継続利用を行う施設として評価しています。

一方で、総合的な視点を加えると、周辺に少年自然の家や自然休養村管理センターがあり、各施設の老朽化を契機に一体的整備を行い、重複機能の解消を図るなど、集約・複合化を図ることが求められていることから、施設の長寿命化を図るとともに、関係課と連携し、施設のあり方や機能見直しについて検討していきます。

また、健全度・利用度評価で複合利用または用途転換を検討すべき施設と評価した、高間木キャンプ場、宮山田運動場についても、管理運営コストや管理手法、施設の性格等、さまざまな要素を勘案しつつ、地域の意見も踏まえながら、今後の施設のあり方を検討していきます。

## エ その他施設の再整備

上河内体育館は、耐震性を表す  $I_s$  値が基準値を下回っている状況にあります。

このため、早期に耐震改修工事を行う必要があり、計画的な施工完了を図ります。

冒険活動センターは、施設のほとんどが木造であるため、整備後 20 年を経過し、腐食・劣化が著しく、子どもたちが小中学校教育課程で多く利用する施設であるため、大規模な改修が必要な状況にあります。

このため、教育課程での学校利用の継続と施設改修を両立する方策を検討しながら、着実な再整備に努めていきます。

## (2) 社会環境の変化や施設配置の状況を踏まえた施設整備

### ア 北西部地域の課題

生涯スポーツの多面的な機能，とりわけ，健康寿命の延伸などの社会的要請に対応できるよう，身近な場所でのスポーツの機会を確保するため，社会体育施設はますます重要性が高まっています。

しかしながら，北西部地域においては，地域内にスポーツの受け皿となる体育施設が乏しい現状にあり，子どもや壮年期・中年期などすべての年代を含め，日常的にスポーツに取り組む環境づくりを進めることが求められる中，地域の生涯スポーツの機会の確保等に大きなネックとなっていると考えられます。

また，地域の高齢化の状況等も踏まえると，健康寿命の延伸や，団塊の世代が75歳を迎え，後期高齢者となる，いわゆる“2025年問題への対応”の面からも大きな課題になると考えられます。

こうしたことから，体育館については，地域の高齢者のスポーツニーズや施設の利用ニーズを捉え，不均衡が生じないよう受け皿を確保する必要があり，運動場についても学校体育施設等で供給しきれない高齢者のニーズを中心に機能付加を図ることが求められます。

### イ 対応

生涯スポーツの機会確保や高齢化の状況等から，施設配置の適正化を図る必要があるため，北西部地域において，適切な規模・機能を有する体育館を新たに設置し，付帯機能として，高齢者ニーズ等に対応した運動広場の機能整備を行います。

#### 【施設のコネプト】

- ・ 地域の生涯スポーツ需要に対応できる施設・機能
- ・ スポーツ以外にも多目的に利用できる施設
- ・ バリアフリーによる誰もが利用しやすい施設

### ウ 建設地の検討

建設地については，「移動手段や時間，地区の繋がり」や「公共交通アクセス」，「まとまった用地の確保，開発許可」，「他の施設・機能との相乗効果」などの側面を勘案して，今後，候補地案の検討を行います。

### エ 想定スケジュール

「施設のコネプト」等を基に，平成29年度から，適地調査や施設の基本構想の作成等について，順次，検討を行っていきます。

	前 期 (H29~H32 年度)	後 期 (H33~36 年度)
北西部地域への新体育施設整備	・ 適地調査，施設計画・設計等	・ 施設整備

## オ 効果検証

### (ア) 人口カバー率

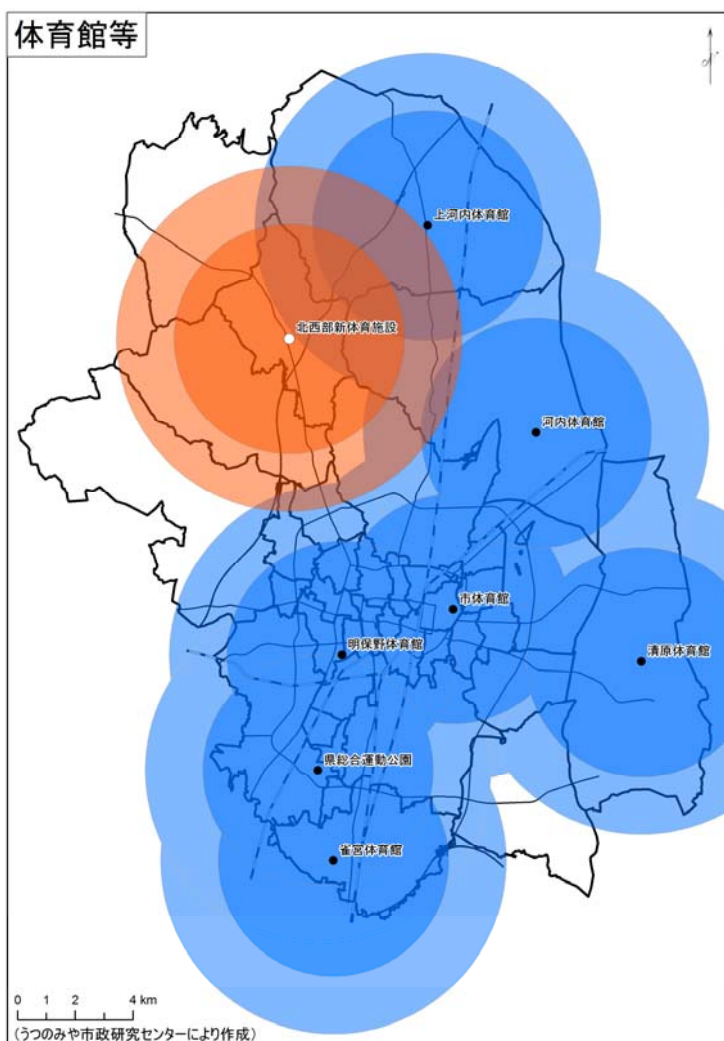
第2章の3(3)ウの人口カバー率でみた既存施設の状況に、新体育施設の誘致圏を加え、効果検証を行うこととします。

なお、ここでは、新体育施設の場を便宜上、北西部地域3地区の中間的な位置にある富屋地区の人口重心付近に置きます。

#### ① 体育館等

体育施設(本来目的の体育施設のみ)でカバーしきれない、6km圏外の人口は、新体育施設整備後、全市で3万人強から8千人弱にまで減少し、市の人口の1.5%となります。

また、北西部地域で見ると、2万6千人強から約5千人にまで減少し、カバーできていない人口は13.4%にまで減少することになります。



【①既存施設(本体目的の体育施設)】 単位:人

	(4km圏外)		6km圏外	
	全市	内、北西部4地区	全市	内、北西部4地区
年少	13,361	4,857	4,500	3,926
生産年齢	59,578	21,646	18,891	16,438
老年	17,656	7,887	6,807	6,051
不詳	1,048	333	178	174
計	91,943(18.0%)	34,723(93.2%)	30,376(5.9%)	26,589(71.3%)

⇒

【②新施設整備後】 単位:人

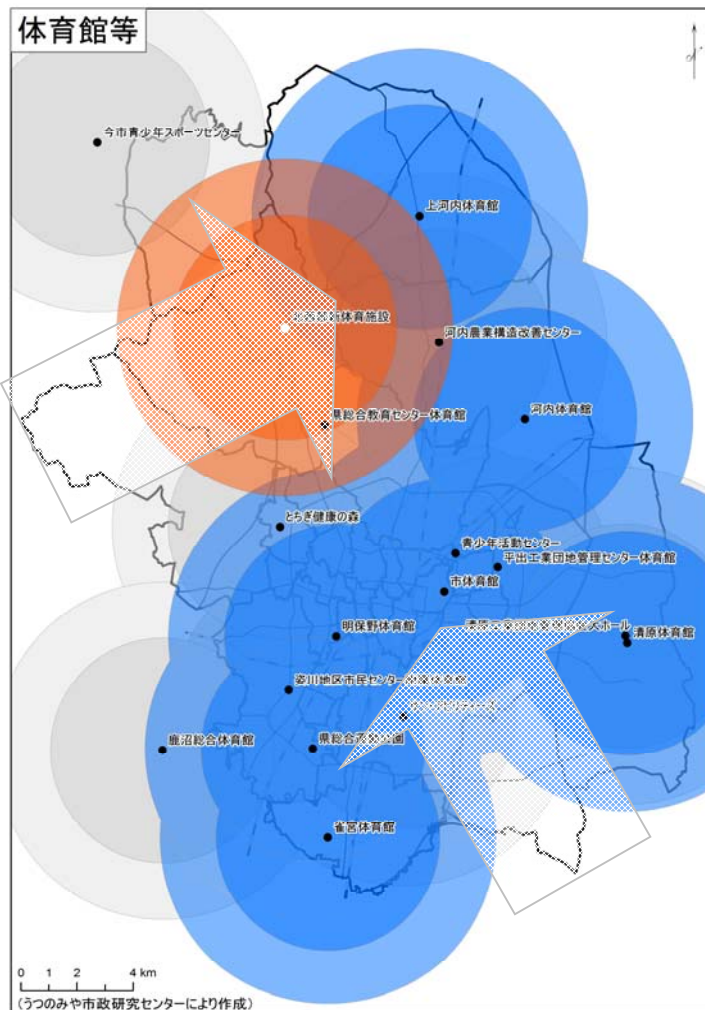
	(4km圏外)		6km圏外		備考
	全市	内、北西部4地区	全市	内、北西部4地区	
年少	11,348	3,250	1,044	717	城山(646)、瑞穂野(327)、篠井(71)
生産年齢	50,277	15,588	4,602	3,007	城山(2,621)、瑞穂野(1,568)、篠井(386)、上河内(27)
老年	14,756	5,443	1,858	1,279	城山(1,066)、瑞穂野(566)、篠井(213)、上河内(13)
不詳	1,009	297	0	0	
計	77,390(15.1%)	24,578(66.0%)	7,504(1.5%)	5,003(13.4%)	城山(4,333)、瑞穂野(2,461)、篠井(670)、上河内(40)

さらに、類似施設や市外の施設についても、スポーツ活動の受け皿になっていることから、これによる補完を行うと、体育施設でカバーしきれない、6 km圏外の人口は、新体育施設整備後、全市で8千人弱から2千人弱にまで減少し、市の人口の0.3%となります。

また、北西部地域でみると、約5千人から約1千人にまで減少し、カバーできていない人口は2.7%にまで減少することになります。

なお、生活行動実態調査（平成28年）の結果分析によると、バス移動（私事）は49分までが8割を占め、30分台が最も多く、交通手段分担率の高い自動車移動も29分までが多くを占めています。

これを踏まえると、2次生活圏を超えた移動も十分想定され、市全域がカバーできると考えられます。



【③さらに類似施設や市外の施設による補完】

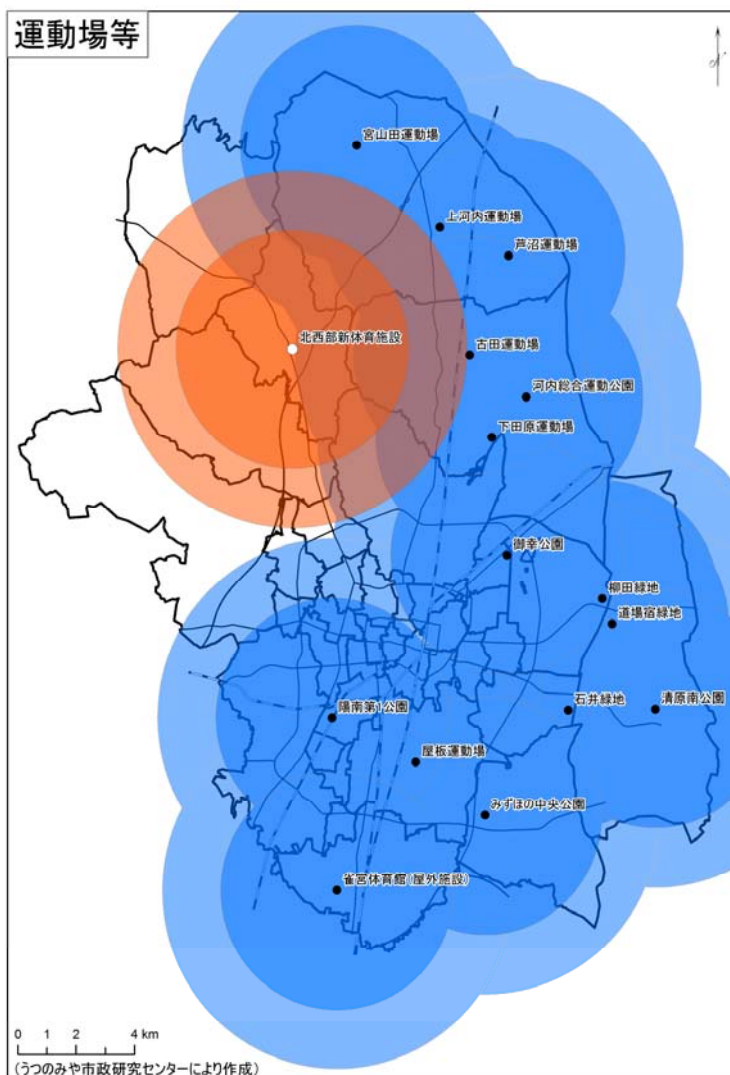
	(4km圏外)		6km圏外		備考
	全市	内、北西部4地区	全市	内、北西部4地区	
年少	1,137	575	175	97	城山(97), 瑞穂野(78)
生産年齢	5,662	2,612	1,024	635	城山(635), 上河内(27), 瑞穂野(362)
老年	2,270	1,114	424	286	城山(286), 上河内(13), 瑞穂野(125)
不詳	7	0	0	0	
計	9,076(1.8%)	4,301(11.5%)	<u>1,623(0.3%)</u>	<u>1,018(2.7%)</u>	城山(1,018), 上河内(40), 瑞穂野(565)



## ② 運動場等

体育施設（多目的な利用が可能な体育施設のみ）でカバーしきれない、6km圏外の人口は、新体育施設整備後、全市で3万7千人強から1万2千人強にまで減少し、市の人口の2.4%となります。

また、北西部地域でみると、2万4千人強から6千人強にまで減少し、カバーできていない人口は16.8%にまで減少することになります。



【①既存施設(多目的な利用が可能な体育施設)】 単位:人

	(4km圏外)		6km圏外	
	全市	内、北西部4地区	全市	内、北西部4地区
年少	13,402	5,133	5,401	3,564
生産年齢	60,136	23,034	23,339	15,123
老年	19,095	8,398	8,102	5,750
不詳	1,607	348	562	185
計	94,240(18.4%)	36,913(99.1%)	37,404(7.3%)	24,622(66.1%)

⇒

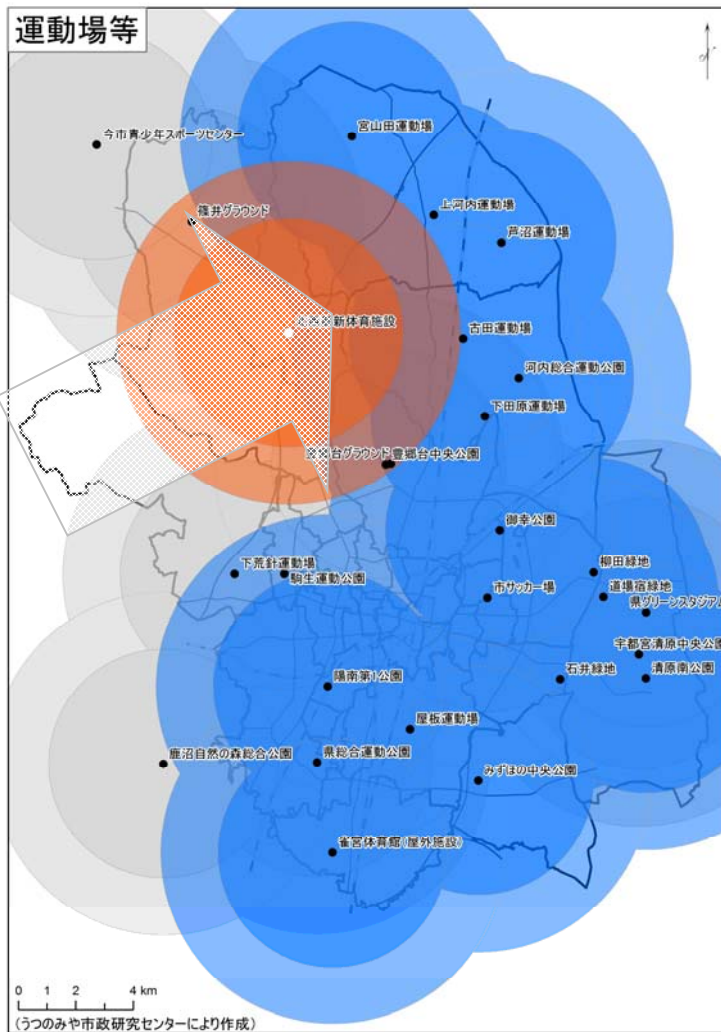
【②新施設整備後】 単位:人

	(4km圏外)		6km圏外		備考
	全市	内、北西部4地区	全市	内、北西部4地区	
年少	11,780	3,526	1,753	874	城山(834)、宝木(503)、細谷(376)、篠井(40)
生産年齢	53,975	16,976	7,590	3,794	城山(3,513)、宝木(2,243)、細谷(1,553)、篠井(281)
老年	16,611	5,954	2,756	1,588	城山(1,420)、宝木(634)、細谷(534)、篠井(168)
不詳	1,571	312	157	4	城山(4)、宝木(140)、細谷(13)
計	83,973(16.4%)	26,768(71.8%)	12,256(2.4%)	6,260(16.8%)	城山(5,771)、宝木(3,520)、細谷(2,476)、篠井(489)

さらに、提供できる機能が限定的な施設や市外の施設についても、スポーツ活動の受け皿になっていることから、これによる補完を行うと、体育施設でカバーしきれない、6 km圏外の人口は、新体育施設整備後、全市で1万2千人強から700人程度にまで減少し、市の人口の0.1%となります。

また、北西部地域でみると、約6千人強から700人程度にまで減少し、カバーできていない人口は2.0%にまで減少することになります。

なお、運動場についても、体育館等と同様に、生活行動実態から、2次生活圏を超えた移動も十分想定され、市全域がカバーできると考えられます。



【③さらに提供できる機能が限定的な施設や市外の施設による補完】

	(4km圏外)		6km圏外		備考
	全市	内、北西部4地区	全市	内、北西部4地区	
年少	357	291	63	63	城山(63)
生産年齢	1,986	1,711	450	450	城山(450)
老年	919	829	217	217	城山(217)
不詳	0	0	0	0	
計	3,262(0.6%)	2,831(7.6%)	<u>730(0.1%)</u>	<u>730(2.0)</u>	城山(730)

### (イ) 費用便益

新施設整備について、国土交通省の「大規模公園費用対効果分析手法マニュアル改定第3版」を使用して、費用便益分析を行いました。

なお、分析手法は、事業の特性から、直接利用価値を旅行費用法で計算し、間接利用価値を効用関数法で算出しました。この場合、B/C（費用対便益）が2.1以上であれば、便益があると判断されます。

費用便益分析の結果、土地取得費が比較的安価であることなどもあり、 $B/C=4.95$ の費用対効果が出る結果となりました。

### (3) 施設区分や位置付けを踏まえた施設整備

プロスポーツや全国・関東大会が行われるなど、高い機能水準が求められる施設や拠点施設など、一部施設において、機能充実を検討していく必要があります。

また、国民体育大会の開催にあたっては、市有施設においても多くの競技が行われる予定であり、先催市においては、競技実施のための施設の改修や整備が行われている事例もあります。

こうしたことから、屋板運動場のクラブハウス機能など、機能向上が求められている施設について、国民体育大会等の機会を捉えた機能導入の検討を行います。

なお、国民体育大会に関する競技施設整備計画は、中央競技団体正規視察（平成28年度）を経て、その指摘等を踏まえた上で、別途、栃木県により取りまとめられることとされていることから、その他、市有施設に求められる整備についても、併せて、必要性や優先度・緊急度等を踏まえて検討を行い、総合的に整備の有無等を判断し、当該競技施設整備計画に計上することとします。

### 3 施設整備の内容とスケジュール

#### (1) 施設の新設

北西部地域への新体育施設の整備について、“地域の生涯スポーツ需要に対応できる施設・機能”などの「施設のコンセプト」を基に、平成29年度から、適地調査や施設の基本構想の作成等について、順次、検討を行っていきます。

##### 【本計画期間内に施設の新設を計画する施設】

施設名	内容	スケジュール
北西部地域への新体育施設整備	適地調査，施設計画・設計等 施設整備	前期 後期

#### (2) 予防保全（大規模改修）

健全度調査結果を基に、既に劣化が著しい施設については、大規模改修を実施し、構造体劣化の恐れを取り除いた上で、その後の計画修繕など通常の予防保全のサイクルに乗せていきます。

##### 【本計画期間内に予防保全（大規模改修）が必要な主な施設】

施設名	内容	スケジュール
宮原運動公園野球場	野球場改築 ・スタンド解体等 ・改築	前期 後期
上河内体育館	予防保全及び耐震改修	前期
冒険活動センター	ロッジ等木部改修	前期（一部後期）
宇都宮清原球場	スタンド部改修	後期

#### (3) 予防保全（計画修繕）

健全度調査結果を基に、施設の長寿命化を図るため、構造体の部位別に改修周期を設定し、経年劣化による建築物への影響を最小限にとどめるための修繕を計画的に実施します。

##### 【本計画期間内に予防保全（計画修繕）が必要な主な施設】

施設名	内容	スケジュール
清原体育館	外壁・屋根・床材修繕	前期

#### (4) 改修に合わせた安心・安全の確保, 利便機能の整備

予防保全に合わせ, トイレ洋式化, トレーニング室空調などの利便機能の整備を計画的に実施するとともに, 明保野体育館, スケートセンター等の吊天井解消などの法対応についても, 可能な限り予防保全に合わせることで効率化を図ります。

なお, 既存不適格である吊天井については, 基本的に解消しますが, 清原体育館天井は東日本大震災復旧工事において, 強度を大幅に向上させているため, 解消の必要性については, 他の計画とも整合を図りながら検討していきます。

##### 【本計画期間内に安心・安全の確保・利便機能の整備が必要な主な施設】

施設名	内容	スケジュール
スケートセンター	吊天井改修	前期
明保野体育館	吊天井・トイレ改修, トレーニング室空調導入検討	前期
清原中央公園	トイレ改修	前期
雀宮体育館	トイレ改修, トレーニング室空調導入 検討	前期

#### (5) 国民体育大会の機会を捉えた機能整備

平成 34 年に栃木県において開催される国民体育大会の機会を捉え, 屋板運動場のクラブハウス機能などについて, 通常の社会体育施設としての利用を踏まえつつ, 競技運営に必要な機能導入の検討を行います。

#### (6) 施設の廃止

廃止または廃止の検討を行うこととしている宮原運動公園弓道場・排球場及び陽南プール, また, 既に廃止している水上公園については, 今回の健全度調査においても, 特に劣化が著しく, かつ利用度調査においても低度に位置するため, 大規模改修等は行わず, 廃止を前提に解体事業を計画します。

##### 【本計画期間内に解体事業が必要な主な施設】

施設名	備考	スケジュール
宮原運動公園弓道場・ 排球場	野球場解体と同時施工	前期
水上公園プール	解体工事	前期
陽南プール	解体工事	後期

#### (7) 施設の複合的利活用に向けた整備

野球場・ソフトボール場の予防保全等に合わせ, グラウンドゴルフ・ペタンクなどのニュースポーツ・軽スポーツに必要な整備などを実施し, 複合的利活用を図っていくこととします。

(8) 施設整備の内容とスケジュール（施設別一覧）

■ 体育館

施設名称	競技施設名称	前 期（平成 29 年度～32 年度）
市体育館	主競技場	維持更新整備（デッキ）
	副競技場	吊バスケットゴール改修
	トレーニング室	予防保全整備
雀宮体育館	主競技場	改修工事（トイレ）
	トレーニング室	空調導入検討
明保野体育館	競技場	吊天井改修・改修工事（トイレ）
	トレーニング室	空調導入検討
清原体育館	メインアリーナ	予防保全整備
	サブアリーナ	予防保全整備，吊バスケットゴール改修
上河内体育館	競技場	予防保全整備・耐震改修，改修工事（トイレ）
河内体育館	競技場	改修工事（トイレ）
北西部地域への新 体育施設整備	（体育館・運動広 場）	適地調査，施設計画・設計等

後 期 (平成 33 年度～36 年度)

器具庫改修
施設整備

■運動場

施設名称	競技施設名称	前期（平成29年度～32年度）
宮原運動公園	野球場	スタンド解体工事
	庭球場ほか	
駒生運動公園	野球場	改築工事，予防保全整備，機能向上検討
	トイレ・管理棟	改築等（管理棟）
鬼怒川石井緑地	多目的運動広場	改築等（事務所）
	野球場	
	ソフトボール場	
柳田緑地	野球場・サッカー場・ソフトボール場	改築等（事務所）
市サッカー場	サッカー場	
みずほの中央公園	野球場・ゲートボール場	改修整備（ゲートボール場）
屋板運動場	庭球場	人工芝張替
	多目的運動広場	予防保全整備（倉庫・トイレ）
市弓道場	弓道場	あづち更新等
清原中央公園	庭球場	照明安定器更新
	宇都宮清原球場	
	待合室・トイレ	予防保全整備，改修工事（トイレ）
清原南公園	野球場	
陽南第一公園	野球場・ゲートボール場	
上河内運動場	野球場・庭球場	
宮山田運動場	野球場	
芦沼運動場	野球場	
河内総合運動公園	屋内プール	吊天井改修（エントランス）
	多目的運動広場	
	陸上競技場	
下田原運動場	弓道場	改修整備
	野球場・庭球場	
	プール	



**後 期 （平成 33 年度～36 年度）**

改築工事
公園再整備工事
改築工事（倉庫）
グラウンド再整備，予防保全整備，改築工事（倉庫）
人工芝張替
改修工事（トイレ）
予防保全整備（事務所）
あづち更新
予防保全整備
グラウンド再整備
予防保全整備
人工芝張替（庭球場）
改修工事（トイレ）
改修工事（トイレ）
予防保全整備
予防保全整備
再整備等
再整備等
再整備等

■ プール・その他

施設名称	競技施設名称	前 期 (平成 29 年度～32 年度)
駅東公園	屋外プール	改修工事 (トイレ)
陽南プール	プール	
水上公園	プール	解体工事
市スケートセンター	スケート場	吊天井改修, 冷凍機交換
サイクリングターミナル	宿泊棟・自転車置場	予防保全整備
冒険活動センター	ワーク棟・管理棟	予防保全整備 (管理棟)
	体育館	
	宿泊施設	予防保全整備
	キャンプ場	予防保全整備

**後 期 (平成 33 年度～36 年度)**

解体工事
予防保全整備 (ワーク棟)
予防保全整備

### 3 計画の推進にあたって

#### (1) 計画の進行管理

本市のスポーツ施策の基本計画である「宇都宮市スポーツ推進計画」の進捗については、毎年度、「宇都宮市スポーツ推進審議会」等に報告しながら、進行管理を行っているところであり、この中で、スポーツ施策全体の整合も踏まえながら、スポーツ推進計画の基本施策の一つである「スポーツ活動環境の充実」や本計画の着実な推進を図ります。

#### (2) 柔軟かつ着実な計画の推進

「宇都宮市公園施設長寿命化計画」など、関連計画等との整合を図るとともに、計画の進捗状況や外部環境の変化などにより、必要に応じ、中間年で計画の見直しを行います。

また、具体的な整備内容やスケジュールについては、「総合計画実施計画（3か年計画）」の中で、直近の施設の状況に加え、本市の各行政分野の施策・事業全体における優先化・重点化の状況も勘案し、見直しを行いながら、柔軟かつ着実な計画の推進を図ります。

# 参 考 资 料



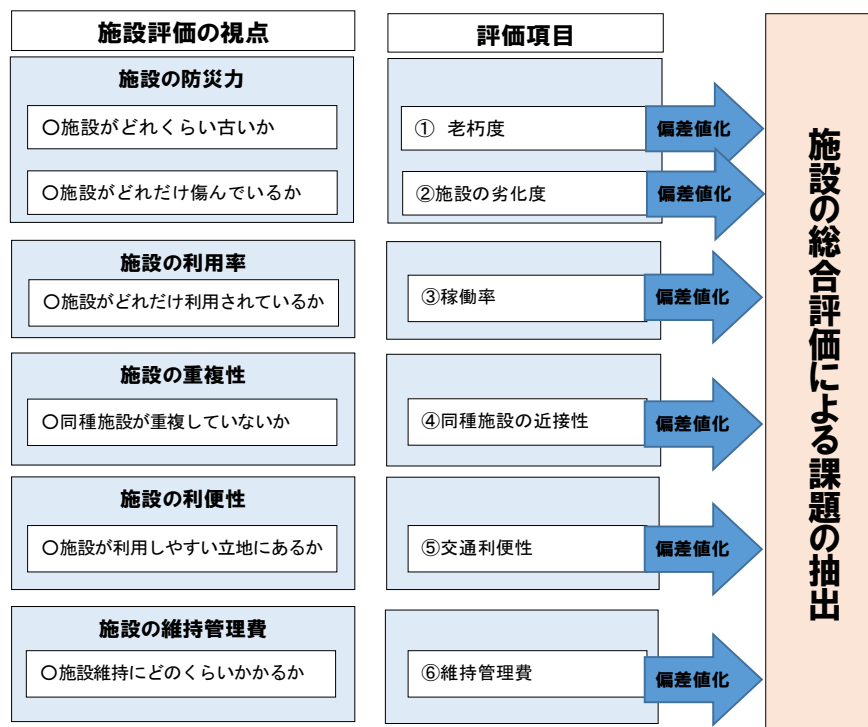
# 1 施設の劣化調査結果の概略（緊急修繕レベルのC・Dの判定が含まれる施設）

整備後30年以上を経過した施設が多いため、こうした施設の緊急修繕レベルが高く、また、河内総合運動公園やうつのみや平成記念子どものもり公園など、比較的整備後の経過年が短い施設についても、外的環境や材質などから、劣化が進んでいるものがみられます。

施設名称	競技施設	一般施設		簡易建築		大規模建築						設備 現在既存資料との付合せによる調査中	所見 全体の劣化状況・問題
		重度劣化該当数	平均評価	重度劣化該当数	平均評価	屋根		外壁		内部			
						重度劣化該当数	平均評価	重度劣化該当数	平均評価	重度劣化該当数	平均評価		
1	清原中央公園 野球場	1	D			1	C	0	B	1	B		建物全体的に劣化が進行しています。グラウンドにくぼみが発生しています。
	清原中央公園 共用	2	B	5	C								経年劣化があります。
2	宮原運動公園 野球場		A			0	B	2	D	6	D		外が劣化し鉄筋が露出している箇所が多数あります。早急に部分補修が必要です。
	宮原運動公園 排球場	4	D										未使用の状況です。
	宮原運動公園 弓道場	2	B	13	C								全体的に劣化が進行し危険な状態です。
3	うつのみや平成記念子どものもり公園 宿泊施設					1	C	1	C	1	B		A棟の屋根材や内部建具、C棟の内部に雨漏り跡、全棟共通で木造の屋外デッキ床・手摺・バーゴラに重度の劣化がみられます。
4	河内総合運動公園 屋内プール					0	B	1	C	2	C		プール室内の結露により、天井への漏水やスチールサッシに重度の腐食が進行しています。
5	駒生運動公園 共用	7	B	16	C								劣化が多数確認され、一部に大きなクラックが生じています。2年程度を目安に計画修繕を検討する必要があります。
6	鬼怒川緑地運動公園石井緑地 多目的運動広場	1	C										一部芝の剥がれている部分の水はけ不良があります。
7	みずほの中央公園 ゲートボール場	2	C										木の枠など劣化が進行している箇所がみられます。休養所の上屋にサビがあり進行しています。
8	陽南第一公園 相撲場			6	C								土壌の上屋に重度の劣化があります。
9	高間木キャンプ場 キャンプ場	1	B	1	C								一部に重度の損傷がみられますが、その他は比較的良好な状態です。
	高間木キャンプ場 共用	1	B	2	C								↑
10	市体育館 主競技場					2	B	2	B	5	C		内装に劣化があります。
	市体育館 トレーニング場					↑		↑		1	C		一部に劣化がみられますが、良好な状態です。
11	雀宮体育館 競技場					3	C	2	C	0	A		全体的に劣化が発生し始めています。躯体のひび割れが多くあり、計画修繕を検討する必要があります。
	雀宮体育館 建物内共用					↑		↑		3	C		↑
12	上河内体育館 競技場					5	C	1	C	1	C		全体的に劣化が進行しています。
	上河内体育館 建物内共用					↑		↑		3	C		↑
13	河内体育館 競技場						C		A		A		全体に劣化が進行しています。1階屋根に雨漏りがあります。
	河内体育館 建物内共用					↑		↑		3	C		全体に劣化が進行しています。天井に多数の雨漏りがあります。
14	市弓道場 弓道場	1	C	2	C	0	A	2	B	0	A		良好な状態です。
15	上河内運動場 共用	3	B	4	C								ベンチ・フェンスなど鉄部のサビが進行しています。
16	陽南プール 屋外プール	0	B			2	D	4	D	3	C		経年変化による劣化が進行しています。プールサイドの仕上げ材の劣化や、階段の手すりの不備などがあり、現在の安全水準に合わせた抜本的な改修が必要です。
17	市スケートセンター スケートリンク					2	C	1	B	1	C		屋根の雨漏り、外部柱のヒビなど構造体に関わる劣化が見られます。早期に詳細調査及び改修が必要です。
	市スケートセンター 建物内共用					↑		↑		1	C		↑
18	市サイクリングターミナル 宿泊施設 レストラン	0	B	1	C	2	C	2	C	2	B		一部に重度の損傷がみられます。
	市サイクリングターミナル レンタルサイクル			1	C								一部に重度の損傷がみられますが、その他は比較的良好な状態です。

## 2 各施設の評価

宇都宮市のスポーツ施設の役割分担や役割（設置目的，利用格式，広域避難所など）を整理し，施設の現状（劣化度，老朽度，利用率，重複性，利用状況，維持管理費）を把握するとともに，施設の総合評価（偏差値化）によって各施設，各競技施設の課題を抽出します。



### ● 体育館

施設名称	競技施設	築年数 (年)	劣化度	稼働率 (%)	類似施設の 最短距離 (km)	施設名 (類似施設)	公共交通 アクセス (歩行時間・分)	単位面積 あたりの 維持管理 費 (円)
市体育館	主競技場	35	2.7	99.0%	4.0	明保野体育館	3	¥6,423
	副競技場	35	3.0	99.1%	4.0	明保野体育館		
	武道館	35	4.0	90.9%	6.8	清原中央公園		
	トレーニング場	35	2.0	—	4.0	明保野体育館		
清原体育館 (清原中央公園)	主競技場	27	4.0	68.6%	6.8	市体育館	0	¥4,356
	副競技場	27	3.7	78.4%	6.8	市体育館		
	剣道場	27	3.3	56.6%	6.8	市体育館		
	柔道場	27	3.0	36.4%	6.8	市体育館		
	トレーニング場	27	3.0	—	6.8	市体育館		

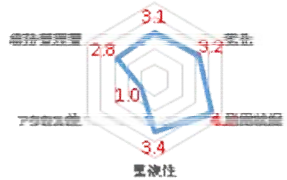
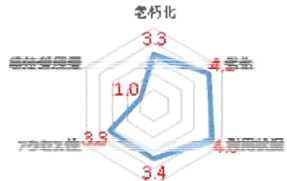
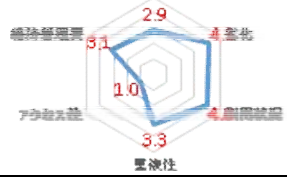
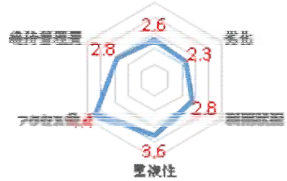
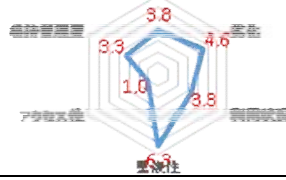


■ 施設評価の仕方

評価項目		評価の仕方
防災力	① 老朽度 【出典】宇都宮市スポーツ施設概要	○各スポーツ施設及び施設内の競技施設毎の築年数に応じて老朽度（築年数が低いほど評価が低い）を評価 ○競技施設（体育館、野球場、ソフトボール場、庭球場、排球場、プール、弓道場、アーチェリー場、運動場、弓道場、多目的運動場、陸上競技場、スケートリンク、その他：以下競技施設は同様）のそれぞれについて、施設毎の老朽度を偏差値化して評価 【絶対評価】：一般的なコンクリートの寿命と言われる築 40 年を基準に偏差値化して評価
	② 施設の劣化度 【出典】劣化診断調査結果	○劣化診断調査結果に基づき、各スポーツ施設及び施設内の競技施設毎に施設の劣化状況を評価 【絶対評価】：建築物の劣化状況を健全度調査による評価基準により判定し、判定結果の ABCD を点数 4,3,2,1 点に置き換え偏差値化して評価。
利用度	③ 稼働率 【出典】平成 24 年度スポーツ施設利用実績	○平成 24 年度スポーツ施設利用実績に基づき稼働率（稼働率が低いほど評価が低い）を評価 【相対評価】：全施設、施設毎の稼働率を偏差値化して評価
重複性	④ 同種施設の近接性 【出典】図上(座標間)計測	○同種施設の近接性（当該施設から最も近い同種施設までの距離（数字が小さいほど評価が低い））により、施設の機能的な重複性を評価 【相対評価】：国や県におけるスポーツ施設の正式な圏域が設定されていないため、類似施設同士の距離を偏差値化して評価
利便性	⑤ 交通利便性 【出典】スポーツ施設の概要	○各施設から最寄りの公共交通の駅やバス停までの距離により（数字が大きいくほど評価が低い）により、施設の交通利便性を評価 ○最寄りの公共交通の駅やバス停までの距離への距離を偏差値化して評価 【絶対評価】：一般的な人が徒歩で遠いと感じない距離である 300m（バスサービスハンドブック：土木学会）を基準に偏差値化
経済性	⑥ 維持管理費	○施設の年間維持管理費（数字が大きいくほど評価が低い）により、施設の経済性を評価 【相対評価】：競技施設のそれぞれについて、単位面積当たりの維持管理費を偏差値化して評価

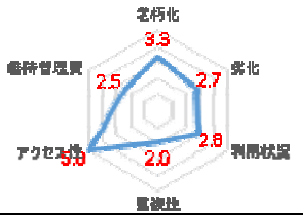
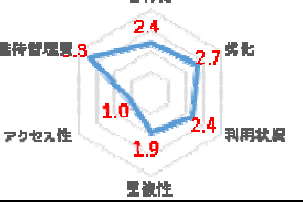
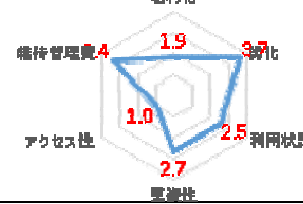
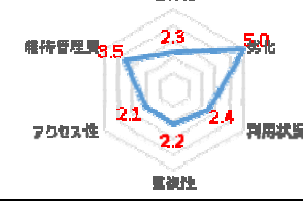

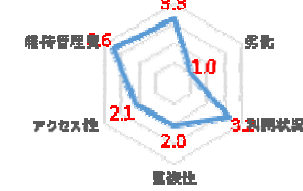
現状評価	評価の分析	エリア性や地域性等	備考
<p>市体育館(主競技場)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内外からも利用されており、利用度も高い。</li> <li>老朽化は進行しているが、劣化状況は健全な状況にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央地域に位置する。</li> <li>拠点施設としてのさまざまな機能を有する。</li> </ul>	
<p>清原体育館(主競技場)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内外からも利用されており、利用度も高い。</li> <li>老朽化は進行しているが、劣化状況は健全な状況にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東部地域に位置する。</li> <li>拠点施設としてのさまざまな機能を有する。</li> </ul>	

施設名称	競技施設	築年数 (年)	劣化度	稼働率 (%)	類似施設の 最短距離 (km)	施設名 (類似施設)	公共交通 アクセス (歩行時 間・分)	単位面積 あたりの 維持管理 費 (円)
雀宮体育館	競技場	31	2.7	96.5%	7.3	明保野体 育館	7	¥2,943
	多目的室	31	4.0	86.9%	7.3	明保野体 育館		
	トレーニング場	31	4.0	—	7.3	明保野体 育館		
明保野体育館	競技場	28	3.3	98.9%	7.3	雀宮体育 館	3	¥12,475
	プレイルーム	28	4.0	94.1%	—	—		
	トレーニング場	28	4.0	—	4.0	市体育館		
河内体育館	競技場	34	3.3	89.8%	6.9	市体育館	15	¥1,682
	格技場	34	4.0	36.2%	6.9	市体育館		
	トレーニング場	34	4.0	—	6.9	市体育館		
上河内体育館	競技場	39	2.0	45.3%	8.2	河内体育 館	1	¥2,981
	卓球場	39	3.0	20.0%	—	—		
平成記念子ども森公園	体育館	19	3.7	63.4%	—	—	10	¥291

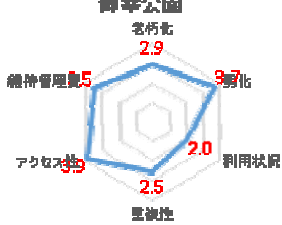

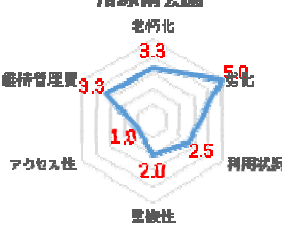
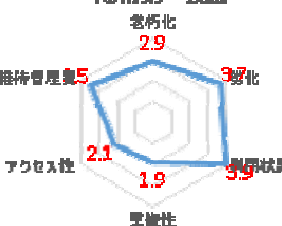
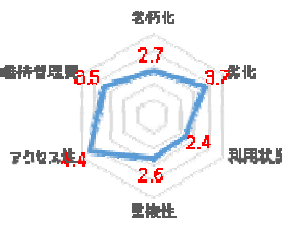
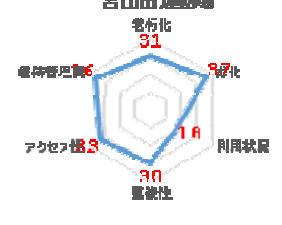
現状評価	評価の分析	エリア性や地域性等	備 考
<p>雀宮体育館(競技場)</p> <p>老朽化</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外から利用されており，利用度も高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部地域に位置する。</li> <li>・準拠点施設</li> </ul>	
<p>明保野体育館(競技場)</p> <p>老朽化</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外から利用されており，利用度も高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央地域に位置する。</li> <li>・準拠点施設</li> </ul>	
<p>河内体育館(競技場)</p> <p>老朽化</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外から利用されており，利用度も高い。</li> <li>・老朽化は進行しているが，劣化状況は健全な状況にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北東部地域に位置する。</li> <li>・準拠点施設</li> </ul>	
<p>上河内体育館(競技場)</p> <p>老朽化</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用度が低めとなっている。</li> <li>・劣化，老朽化ともに進行している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北東部地域に位置する。</li> <li>・準拠点施設</li> </ul>	
<p>平瀬記念女子体育館(体育館)</p> <p>老朽化</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重複する施設はない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校利用に供される教育施設として主に利用されている。</li> </ul>	

●野球場

施設名称	築年数 (年)	劣化度	稼働率 (%)	類似施設 の最短距 離 (km)	施設名 (類似施設)	公共交通 アクセス (歩行時 間・分)	単位面積 あたりの 維持管理 費 (円)
清原球場 (清原中央公園)	27	2.3	47.6%	0.9	清原南公 園	0	¥4,356
宮原球場 (宮原運動公園)	41	2.3	30.6%	0.5	陽南第一 公園	10	¥933
駒生球場 (駒生運動公園)	50	3.0	36.1%	3.9	宮原運動 公園	15	¥520
石井緑地	44	4.0	33.1%	1.8	清原南公 園	5	¥119
柳田緑地	41	3.0	36.2%	1.1	道場宿緑 地	10	¥67
道場宿緑地	28	1.0	61.7%	1.1	柳田緑地	5	¥63

現状評価	評価の分析	エリア性や地域性等	備 考
<p>清原球場(清原中央公園)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内外からも利用されている。</li> <li>・老朽化、劣化ともに非常に進行しており、建築的な評価が低くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東部地域に位置する。</li> <li>・拠点施設</li> </ul>	
<p>宮原球場(宮原運動公園)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外からも利用されているが、利用度がやや低めとなっている。</li> <li>・老朽化、劣化ともに非常に進行しており、建築的な評価が低くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部地域に位置する。</li> <li>・準拠点施設</li> </ul>	
<p>駒生球場(駒生運動公園)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外から利用されている。</li> <li>・老朽化が進行しているが、躯体の老朽化を除き劣化は比較的健全な状況となっている。</li> </ul>		
<p>石井緑地</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外から利用されている。</li> <li>・老朽化は進行しているが、劣化状況は比較的健全な状況である。</li> <li>・大規模建築物がないため維持管理費が低くなっている。</li> </ul>		
<p>柳田緑地</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外から利用されている。</li> <li>・老朽化は進行しているが、劣化状況は比較的健全な状況である。</li> <li>・大規模建築物がないため維持管理費が低くなっている。</li> </ul>		
<p>道場宿緑地</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外から利用されている。</li> <li>・劣化が非常に進行しており、建築的な評価が低くなっている。</li> <li>・大規模建築物がないため維持管理費が低くなっている。</li> </ul>		

施設名称	築年数 (年)	劣化度	稼働率 (%)	類似施設の 最短距離 (km)	施設名 (類似施設)	公共交通 アクセス (歩行時 間・分)	単位面積 あたりの 維持管理 費 (円)
御幸公園	33	3.0	17.3%	3.4	鬼怒川緑 地運動公 園石井緑 地	2	¥243
みずほの中央公園	33	3.0	32.2%	5.3	鬼怒川緑 地運動公 園石井緑 地	1	¥544
清原南公園	27	4.0	36.3%	0.9	清原中央 公園	10	¥876
陽南第一公園	33	3.0	87.3%	0.5	宮原運動 公園	5	¥359
上河内運動場	37	3.0	32.2%	3.9	芦沼運動 場	1	¥268
宮山田運動場	31	3.0	8.6%	5.4	上河内運 動場	3	¥23

現状評価	評価の分析	エリア性や地域性等	備 考
<p style="text-align: center;"><b>御幸公園</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化は進行しているが、改修等により劣化状況は比較的健全な状況である。</li> <li>維持管理費は低くなっている。</li> </ul>		
<p style="text-align: center;"><b>みずほの中央公園</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化は進行しているが、改修等により劣化状況は比較的健全な状況である。</li> </ul>		
<p style="text-align: center;"><b>清原南公園</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内外から利用されているが、利用度がやや低めとなっている。</li> <li>老朽化、劣化の状況は比較的健全な状況となっている。</li> </ul>		
<p style="text-align: center;"><b>陽南第一公園</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民・地域利用が主な施設として、利用度が高い。</li> <li>老朽化は進行しているが、劣化の状況は比較的健全な状況となっている。</li> </ul>		
<p style="text-align: center;"><b>上河内運動場</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用度がやや低めとなっている。</li> <li>老朽化は進行しているが、劣化の状況は比較的健全な状況となっている。</li> <li>大規模建築物がないため維持管理費が低くなっている。</li> </ul>		
<p style="text-align: center;"><b>吾山田運動場</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用度が低めとなっている。</li> <li>老朽化、劣化の状況は比較的健全な状況となっている。</li> <li>大規模建築物がないため維持管理費が低くなっている。</li> </ul>		

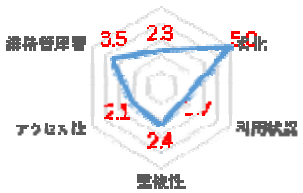
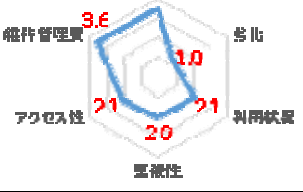
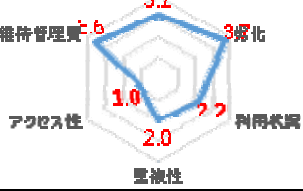
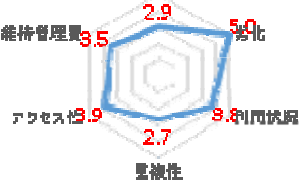
施設名称	築年数 (年)	劣化度	稼働率 (%)	類似施設の 最短距離 (km)	施設名 (類似施設)	公共交通 アクセス (歩行時 間・分)	単位面積 あたりの 維持管理 費 (円)
芦沼運動場	31	3.0	17.4%	3.2	古田運動 場	20	¥23
下田原運動場	36	3.0	37.0%	3.1	古田運動 場	10	¥227
古田運動場	24	3.0	31.7%	3.1	下田原運 動場	15	¥51



現状評価	評価の分析	エリア性や地域性等	備 考
<p style="text-align: center;"><b>芦沼運動場</b></p> <p>Detailed description: A five-axis radar chart for Asunuma Sports Ground. The axes are labeled: 老朽化 (top, 3.1), 利用状況 (right, 2.0), 豊穡性 (bottom, 2.5), アクセシビリティ (left, 1.0), and 維持管理費 (left, 6). The chart shows a score of 3.1 for aging, 2.0 for usage, 2.5 for fertility, 1.0 for accessibility, and 6 for maintenance cost.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用度がやや低めとなっている。</li> <li>・老朽化は進行しているが,劣化の状況は比較的健全な状況となっている。</li> <li>・大規模建築物がないため維持管理費が低くなっている。</li> </ul>		
<p style="text-align: center;"><b>下田原運動場</b></p> <p>Detailed description: A five-axis radar chart for Shimodaira Sports Ground. The axes are labeled: 老朽化 (top, 2.8), 利用状況 (right, 2.5), 豊穡性 (bottom, 2.5), アクセシビリティ (left, 1.0), and 維持管理費 (left, 5). The chart shows a score of 2.8 for aging, 2.5 for usage, 2.5 for fertility, 1.0 for accessibility, and 5 for maintenance cost.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用度がやや低めとなっている。</li> <li>・老朽化は進行しているが,劣化の状況は比較的健全な状況となっている。</li> <li>・大規模建築物がないため維持管理費が低くなっている。</li> </ul>		
<p style="text-align: center;"><b>古田運動場</b></p> <p>Detailed description: A five-axis radar chart for Furuta Sports Ground. The axes are labeled: 老朽化 (top, 3.5), 利用状況 (right, 2.4), 豊穡性 (bottom, 2.5), アクセシビリティ (left, 1.0), and 維持管理費 (left, 6). The chart shows a score of 3.5 for aging, 2.4 for usage, 2.5 for fertility, 1.0 for accessibility, and 6 for maintenance cost.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用度がやや低めとなっている。</li> <li>・老朽化は進行しているが,劣化の状況は比較的健全な状況となっている。</li> <li>・大規模建築物がないため維持管理費が低くなっている。</li> </ul>		

●ソフトボール場

施設名称	築年数 (年)	劣化度	稼働率 (%)	類似施設の 最短距離 (km)	施設名 (類似施設)	公共交通 アクセス (歩行時 間・分)	単位面積 あたりの 維持管理 費 (円)
石井緑地	43	4.0	4.9%	2.5	道場宿緑地	5	¥119
道場宿緑地	25	1.0	20.4%	1.1	柳田緑地	5	¥63
柳田緑地	31	3.0	25.4%	1.1	道場宿緑地	10	¥67
錦中央公園	33	4.0	82.2%	4.3	柳田緑地	2	¥389

現状評価	評価の分析	エリア性や地域性等	備考												
<p style="text-align: center;"><b>石井緑地</b> 老朽化</p>  <table border="1" style="display: none;"> <caption>石井緑地 現状評価</caption> <tr><th>項目</th><th>スコア</th></tr> <tr><td>維持管理費</td><td>3.5</td></tr> <tr><td>アクセシビリティ</td><td>2.1</td></tr> <tr><td>豊穡性</td><td>2.4</td></tr> <tr><td>利用状況</td><td>5.0</td></tr> <tr><td>老朽化</td><td>2.3</td></tr> </table>	項目	スコア	維持管理費	3.5	アクセシビリティ	2.1	豊穡性	2.4	利用状況	5.0	老朽化	2.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外から利用されている。</li> <li>・老朽化は進行しているが、劣化状況は比較的健全な状況である。</li> <li>・大規模建築物がないため維持管理費が低くなっている。</li> </ul>		
項目	スコア														
維持管理費	3.5														
アクセシビリティ	2.1														
豊穡性	2.4														
利用状況	5.0														
老朽化	2.3														
<p style="text-align: center;"><b>道場宿緑地</b> 老朽化</p>  <table border="1" style="display: none;"> <caption>道場宿緑地 現状評価</caption> <tr><th>項目</th><th>スコア</th></tr> <tr><td>維持管理費</td><td>3.6</td></tr> <tr><td>アクセシビリティ</td><td>2.1</td></tr> <tr><td>豊穡性</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>利用状況</td><td>2.1</td></tr> <tr><td>老朽化</td><td>3.4</td></tr> </table>	項目	スコア	維持管理費	3.6	アクセシビリティ	2.1	豊穡性	2.0	利用状況	2.1	老朽化	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外から利用されている。</li> <li>・劣化が非常に進行しており、建築的な評価が低くなっている。</li> <li>・大規模建築物がないため維持管理費が低くなっている。</li> </ul>		
項目	スコア														
維持管理費	3.6														
アクセシビリティ	2.1														
豊穡性	2.0														
利用状況	2.1														
老朽化	3.4														
<p style="text-align: center;"><b>柳田緑地</b> 老朽化</p>  <table border="1" style="display: none;"> <caption>柳田緑地 現状評価</caption> <tr><th>項目</th><th>スコア</th></tr> <tr><td>維持管理費</td><td>2.6</td></tr> <tr><td>アクセシビリティ</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>豊穡性</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>利用状況</td><td>2.7</td></tr> <tr><td>老朽化</td><td>3.1</td></tr> </table>	項目	スコア	維持管理費	2.6	アクセシビリティ	1.0	豊穡性	2.0	利用状況	2.7	老朽化	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外から利用されている。</li> <li>・老朽化は進行しているが、劣化状況は比較的健全な状況である。</li> <li>・大規模建築物がないため維持管理費が低くなっている。</li> </ul>		
項目	スコア														
維持管理費	2.6														
アクセシビリティ	1.0														
豊穡性	2.0														
利用状況	2.7														
老朽化	3.1														
<p style="text-align: center;"><b>錦中央公園</b> 老朽化</p>  <table border="1" style="display: none;"> <caption>錦中央公園 現状評価</caption> <tr><th>項目</th><th>スコア</th></tr> <tr><td>維持管理費</td><td>3.5</td></tr> <tr><td>アクセシビリティ</td><td>3.9</td></tr> <tr><td>豊穡性</td><td>2.7</td></tr> <tr><td>利用状況</td><td>3.8</td></tr> <tr><td>老朽化</td><td>2.9</td></tr> </table>	項目	スコア	維持管理費	3.5	アクセシビリティ	3.9	豊穡性	2.7	利用状況	3.8	老朽化	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民・地域利用が主な施設として、利用度が高い。</li> <li>・老朽化は進行しているが、劣化の状況は比較的健全な状況となっている。</li> <li>・大規模建築物がないため維持管理費が低くなっている。</li> </ul>		
項目	スコア														
維持管理費	3.5														
アクセシビリティ	3.9														
豊穡性	2.7														
利用状況	3.8														
老朽化	2.9														

●サッカー場

施設名称	築年数 (年)	劣化度	稼働率 (%)	類似施設の 最短距離 (km)	施設名 (類似施設)	公共交通 アクセス (歩行時 間・分)	単位面積 あたりの 維持管理 費 (円)
河内総合運動公園(陸上競技場兼サッカー場)	10	4.0	54.2	—	—	5	¥3,108
市サッカー場	35	3.3	100.0%	3.8	柳田緑地	5	¥411
柳田緑地	41	3.0	31.6%	3.8	市サッカー場	10	¥67

現状評価	評価の分析	エリア性や地域性等	備考
<p>河内総合運動公園</p> <p>老朽化 4.5 維持管理費 2.8 アクセシビリティ 2.1 重複性 2.0 利用状況 3.0</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外から利用されている。利用度が高い。</li> <li>・重複する施設がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北東部地域に位置する。</li> <li>・拠点施設</li> </ul>	
<p>市サッカー場</p> <p>老朽化 2.8 維持管理費 3.0 アクセシビリティ 1.0 重複性 2.6 利用状況 3.0</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外から利用されている。</li> <li>・老朽化は進行しているが、劣化状況は比較的健全な状態となっている。</li> </ul>		
<p>柳田緑地</p> <p>老朽化 2.4 維持管理費 1.4 アクセシビリティ 2.1 重複性 2.6 利用状況 2.4</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化は進行しているが、劣化の状況は比較的健全な状況となっている。</li> <li>・大規模建築物がないため維持管理費が低くなっている。</li> </ul>		

●庭球場

施設名称	築年数 (年)	劣化度	稼働率 (%)	類似施設の 最短距離 (km)	施設名 (類似施設)	公共交通 アクセス (歩行時 間・分)	単位面積 あたりの 維持管理 費 (円)
清原中央公園	27	3.0	87.6%	10.4	官原運動 公園	0	¥4,356
屋板運動場	28	3.5	95.9%	3.1	官原運動 公園	2	¥609
官原運動公園	53	3.0	48.7%	3.1	屋板運動 場	10	¥933
雀宮体育館	30	3.0	50.0%	5.0	屋板運動 場	7	¥2,610
錦中央公園	33	3.0	100.0%	6.0	官原運動 公園	2	¥389
上河内運動場	38	4.0	42.6%	7.3	下田原運 動場	1	¥268

現状評価	評価の分析	エリア性や地域性等	備考
<p style="text-align: center;"><b>清原中央公園</b> 老朽化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外から利用されており、利用度も高い。</li> </ul>		
<p style="text-align: center;"><b>屋根運動場</b> 老朽化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設規模は比較的大きく、市内外から利用されており、利用度も高い。</li> <li>・老朽化は進行しているが、劣化状況は比較的健全な状態となっている。</li> </ul>		
<p style="text-align: center;"><b>宮原運動公園</b> 老朽化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化は進行しているが、劣化状況は比較的健全な状態となっている。</li> </ul>		
<p style="text-align: center;"><b>雀宮体育館</b> 老朽化</p>			
<p style="text-align: center;"><b>錦中央公園</b> 老朽化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民・地域利用が主な施設として、利用度が高い。</li> <li>・老朽化は進行しているが、劣化の状況は比較的健全な状況となっている。</li> <li>・大規模建築物がないため維持管理費が低くなっている。</li> </ul>		
<p style="text-align: center;"><b>上河内運動場</b> 老朽化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化は進行しているが、劣化の状況は比較的健全な状況となっている。</li> <li>・大規模建築物がないため維持管理費が低くなっている。</li> </ul>		



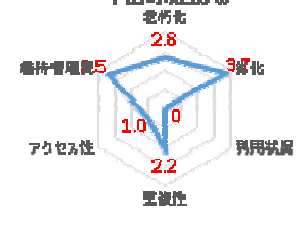
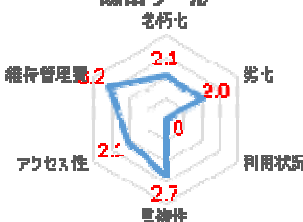
施設名称	築年数 (年)	劣化度	稼働率 (%)	類似施設の 最短距離 (km)	施設名 (類似施設)	公共交通 アクセス (歩行時 間・分)	単位面積 あたりの 維持管理 費 (円)
下田原運動場	36	3.0	28.5%	5.3	錦中央公 園	10	¥227



現状評価	評価の分析	エリア性や地域性等	備考
<p style="text-align: center;"><b>ト田原運動場</b> 老朽化</p> <p>Detailed description: A radar chart with five axes. The top axis is labeled '老朽化' with a score of 2.8. The right axis is '利用状況' with a score of 2.0. The bottom axis is '豊饒性' with a score of 2.9. The left axis is 'アクシス性' with a score of 1.0. The outermost axis is '維持管理費' with a score of 5.0. The chart is titled 'ト田原運動場 老朽化'.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用度がやや低くなっている。</li> <li>・老朽化は進行しているが、劣化の状況は比較的健全な状況となっている。</li> <li>・大規模建築物がないため維持管理費が低くなっている。</li> </ul>		

●プール

施設名称	築年数 (年)	劣化度	稼働率 (%)	類似施設の 最短距離 (km)	施設名 (類似施設)	公共交通 アクセス (歩行時 間・分)	単位面積 あたりの 維持管理 費(円)
河内総合運動公園	14	2.3	—	1.8	下田原運動 場	5	¥3,108
宇都宮駅東公園	40	3.8	—	4.2	陽南プール	3	¥1,230
下田原運動場	36	3.0	—	1.8	河内総合運 動公園	10	¥227
陽南プール	46	1.8	—	4.2	宇都宮駅東 公園	5	¥1,341

現状評価	評価の分析	エリア性や地域性等	備考
<p>河内総合運動公園</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化は進行していないが、劣化が進行している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況（稼働率）は、当該施設の利用特性から分析せず</li> </ul>
<p>宇都宮駅東公園</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化は進行しているが、劣化の状況は比較的健全な状況となっている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況（稼働率）は、当該施設の利用特性から分析せず</li> </ul>
<p>下田原運動場</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>維持管理費が比較的 low となっている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況（稼働率）は、当該施設の利用特性から分析せず</li> </ul>
<p>陽南プール</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化が進行している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況（稼働率）は、当該施設の利用特性から分析せず</li> </ul>

●弓道場

施設名称	築年数 (年)	劣化度	稼働率 (%)	類似施設の 最短距離 (km)	施設名 (類似施設)	公共交通 アクセス (歩行時 間・分)	単位面積 あたりの 維持管理 費 (円)
市弓道場	23	3.3	—	3.1	宮原運動公園	2	—
宮原運動公園	52	1.3	—	3.1	市弓道場	10	¥481
下田原運動場	36	3.0	89.5%	10.3	宮原運動公園	10	¥227

現状評価	評価の分析	エリア性や地域性等	備考
<p style="text-align: center;"><b>市弓道場</b> 老朽化</p> <p>Detailed description: A radar chart with five axes. The top axis is '老朽化' (3.8), the top-right is '劣化' (3.7), the right is '利用状況' (2.5), the bottom is '堅固性' (2.5), and the left is '維持管理費' (3.9). The center is marked with '0'.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外から利用されている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用状況（稼働率）は、当該施設の利用特性から分析せず</li> <li>・維持管理費は屋板運動場を含む</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>宮原運動公園</b> 老朽化</p> <p>Detailed description: A radar chart with five axes. The top axis is '老朽化' (1.5), the top-right is '劣化' (1.0), the right is '利用状況' (2.5), the bottom is '堅固性' (2.5), and the left is '維持管理費' (3.0). The center is marked with '0'.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化は進行しているが、劣化の状況は比較的健全な状況となっている。</li> <li>・大規模建築物がないため維持管理費が低くなっている。</li> </ul>		
<p style="text-align: center;"><b>ト田原運動場</b> 老朽化</p> <p>Detailed description: A radar chart with five axes. The top axis is '老朽化' (2.0), the top-right is '劣化' (5.0), the right is '利用状況' (4.6), the bottom is '堅固性' (4.0), and the left is '維持管理費' (3.4). The center is marked with '0'.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民・地域利用が主な施設として、利用度が高い。</li> <li>・老朽化は進行しているが、劣化の状況は比較的健全な状況となっている。</li> <li>・維持管理費は比較的低くなっている。</li> </ul>		